世紀の様に盲月館に追駆しようとはしなくなつた「日本主義が徐々に復語した、日本は歴早、幽研に於て其のの日本主義が 思はれた、脈し歐洲大職以後、特に現在の不況開始以來、昔時西洋流の授術と共に西洋流の思想を完全に取入れたが如く

民經濟生活の惡化

軍人の態度を左右するものに三つの主要を案がある、先づ に外國――ヨ外職僚は益々思化しつ」あるのだが

三つの主要モメント

のり、また軍隊内の敬奇は此の顧肖から解明されなけれーと云ふことである。日本の軍人の大部分は農村出身日本の農民の薨之――貴國なる竇淵に對する人口の鄧

日本の政治情勢 英エコノミストの所

た、たがそれらは、関民をして民主々難及びそれに伴ふ左翼ない関である、なるほど日本は歐洲の面工薬(航空間を輸入し民主の薄流の民主々薬(脈外用・薬(航音)用・主薬を翻繍したとの

|及び國家主義的な無手節りつくあつた。日本はこれまで一れて来た所である。最近歌年間、日本にはぢり~~と愛爾・一九三天年が日本にとつて非常時であるとは、古くからい一九三天年が日本にとつて非常時であるとは、古くからい

日本の愛國熱の昻揚

及び共産主義運動を報思せしめる封建主義的愛國主義の の上に建てられたのであつた、今世紀の初頭、日本は雌に一

民戦線內閣

**佛國憲政史上空前** 

との交渉を前提條件とし極力折

## 罷業参加つひに五十萬と註せらる 全產業部門痲痺狀

# 五十名 と説せらる、中 気した、有内容は 図の船業人団敷け無値 交した、有内容は 変した、有内容は 変した、有内容は

||旅廊に陷つた、資本家は労働者代 ||乳、服、バターの市價は最上りに 既けてゐるが爭擬麼は左葉內一大重となつてゐる 五十萬と誰せらる、牛

海軍參謀長

會議開か

『土の事識を流く歌劇しサローるが、資本家剛は登録者の態度に四日 同盟』フランス 政府 | ウ首相以下官方關停に努力してゐ 勞資愈よ正面衝突

資本家側硬化 とである。数府は宜しくこの承彩を帯びた罷業は削代未開のこ選大事件でありこれ程革命的色

ッランス産業界始まつて以来 交渉に側にない、今回の能業 資本案側は部劃使用者代表と

**労査双方全く正面面実の形に陥った電話した、資本家の態度強化にとの強硬感見を表明し折側打切り** れるに至った。

議は五日より向小大日間軍令部門 [東京電話] 本年度海軍器議長曹 けふから六日間

商相西下談

たがテの後における各省の立義院。電力破職は配間事業に影響する所つて天を討議することになつてゐ」と見られるが頼華木厳細としては

日の配職歴史各相上り腹梁を排答 | 國双間選が第一に退上によるもの|

省に主選せしめ當初の方針では三一

も態様してをり間縁に於ても電力 を見ると難信省の電力國際家が最

○日の閣議に於て行ふ方針で各一

合せに基の革新國策の審議を七

東京電話」政府は去る二日開設「設定例日保に銀設することに方針」新書局に立窓を命ずる方針である

**まづ電力統制問題か** 

を懸更した、現在各省の立案状況

米洲總領事會議

児より見て三日の翻羅に、齊に持一聞る大なので崩壊な態度を以こ<u>立</u>

ちあることは困難なため成案順に

提の後向九時開聲、伏見軍令部總 少を申上げ、ついで永野海相に挽 新見第一體隊、伊藤吳顧、情水佐 立形型長宮港下の御前に向疾御校 日掘つて午期九時四十五分伏見軍 舞鶴、大海、顯海、馬公、底順 |したが平中時間について左の如く 吹り:日の駅前を取切りとして郷「綿綿の上流線を綿その後或めて事」という正日午前九時十七分英源 | もきてことは京鰲方するかです | 1944 戸に行けれる金國際出組合大會出事業研察部行の小川商相は途中神 【禪戶電話】關西九州の嬰鍵監督

庶民金融圓滑化二

十一の四日間は海軍省関係の事項 部第一第二部の協議を行ったが、 五六州日は軍令部馴像八、九、 要なる御訓示を騙はつて直に策令

別給相 サヴイエール 離相 オーリオル 和民相 ムーテ (社會

總督府の増員 事務官、技師計十七名

(戦震災) 節十一名を増設するがその内閣は から本府内に新に事跡官六名、技 △技師 僧計潔一名、種産局

こ、日本はヨカで立ち得ることを知り、對等の待遇問題の膨巣とそれに続く兩 圏揺耳の理解 の喪失と

る、それ故に日本は日本の支配の下に厭料を駆得し、また自 の関係に益々的なしついあることを自然しついあることであ

くして戦る、小作獣度を射越せざる程度に、発園に重って工機れば日本は最早大規模なる工業化の政策を発行すべきでな 立せざるべからずと主張する、第二に軍人達の主能する所に 國製品の販路たるベきアジア大陸に自給自足の經濟聯盟を建

## 家自由兩主義對立

将來はどうなるか?

慌、そしてベン廃工も聴覚する

パリは搬業で水飢饉、ガス飢

らうことを誰が知ららご

であらう、醍醐は左世髄世界と云ふ物酸率にはめられた一個後等にして実験せんか、日本の政治は徐々に続を奏つて行く家主義は復語し、大陸諸葛主義は復語するから知れれ、若し 然らずんば永遠に國民景観の期を喪ふと決心せざるを帯なか つた、看し現新政府の政策を支配することに成功せんか、國 國民の同情期らぐ北欧の見えた島の極右派の人々は今か、

六年の地中海の記地に立つて海

タ刊六頁朝刊八頁

自についた。

沙門西州 **那**  タイムスは干九百四十年の見地

おせつかいなる説、ロンドン

論者は之には国家による完全なる經濟統制の樹立を含ましむ

べしと主張してゐる、第三に政策政治の運用に全く奴婢を黙 深の地方分散化を写す必要ありといふのである、更に怪器な

中央、西南の抗争は 馴合の

よりベリ市内の含緑肥酸は 勝幹結果原體交渉艇を膨保、四日夕刻

品組合風は四日屋主代表と幽範の 【メリ四日同盟】市場連盟夫食料

**食糧飢饉一應解消** 

任東大教授(二等)

際へられる中央軍の動戦令説を正

た事質なしと言明した態に西南歐一

冷靜極る南京政府 指定する態度をとつてをりしかもと蔣介石氏は暗に西南側の主張を ないこととなり何れにしても西南 事質とすれば戦闘説は馴合にすぎ得たとさへ解へられてゐる、若し 国の宗教を撤回する代頃として十有利に導かんとし一方西南派が反 して日本を鑑制し今後日支交渉

の指目通電が登園の電人その他に現代を影響は大であるからこれを近現でないのが日本版の全国的に現

通電を織した常時様朴氏等主要中 【東京電話】五日の定列閣議は年 けふ定例閣議 芝居?

改正に属する制令等を決定し同じ 第一種備金より支出の件その 小川商相、概は木脈相を除く各 閣議决定事項

越路篇

別取定時總會

新しら、亡き將軍家のおことばを にかざして働いた85 にかざして働いた85

臣下として、ないないなりしなりを、何で文、既にさ

かの女都も、この館には、ほと

遊ばしたもの

まで仰せある

完成するは ひミり 性を以て豫定の蓄財を 天諦の儘に絕對の唯實

保險あるの

Ž,

16 111

蓄貯新

に失ふ

認過過

田島

がか

また萬金を一瞬

授機は一器に干金を獲 計畫を誤ってはなられ

36-7

潚 作

(144

財じ果でました

い、命を槍先

り同所に開催する事となった時總會は來る二十五旦午後三

取り立て ン……」

は能、片田舎の荒れ地へ遊ひやらは能、片田舎の荒れ地へ遊ひやら

『いるで思いか』

賴母木老相 室の

交番は他れまする。

に立ち、政治を

してゐるので

一(天下を取つたら日

れてゐるではないか。――やがて

大下の俗衆が、誤解することを、

関白な御心事を、

( )身を這ひ上げた跳び都が、蜀。れ、たい口光の縦巧で、 ぬらり

くかいけ

機能を完全に具備する 貯金 信託 保険の三 許さぬ利廻りを誇り にあつて 他の追従を然り 低金利下の現狀

大同の特別養老保險こ

に十一時州分心も壁げに出襲した 田朝鮮縣弥繆歌テの他の見透り裡削十一時自動車で羽田に到着今井 まで諸類する傾母木熊自は石日午 国體往來 前本縣級層處 大臣室の底のトップを切り福岡。羽田薫語』と上蔵の老骥を選げ 窓鸛へ書いて、鸛氈へ登らうと談、謎を待つてゐるにひとしい」らせる)と申したあの一篙を、麒、送いてをる。からしてゐるのは自 たのだ。 |て過つた霧に、千戦の機を遠して|下が、四ッ目の御旗を飾削に押し 度かいつてゐた、その度症に、 本半國一つにして佐々木兄弟に取 世のうちから、この事は申してる を初め、老臣共が、とやかく申し 世のうちから、この事は単してゐ。何の科があつてか、所謂を健取さ『云ふな、わしは、まだ賴朝が征。はないか。――近くは兄の盛網は

は國務省にハル長官を訪問した「一旦組や熟読した、理論整了後一同 単館議第二日は四日午前大使館館 時廿四分水原より入城同夜半藤 十五分 京城縣 岩列市

◆大野秀夫氏(抵稅省東亞課長) ・ 日安東に向ふはず 日安東に向ふはず

社會施設擴充に本府乘出す

質弱數字である
「英国に比べると問題にならぬ」外國人士二名記一萬十三名といふ

のではないか いつ迄もこの高網の胸中に、鬱々一立て、北條原館の

間を、一點に

る。こっく、際に路じてはをり 一治家の間を存ずればこそでこざ 「たに、これが」 『殿の御不平は、小崎の端にいた

者を派遣する、蔣かの極は生え 一般の全部を順ふ時が來るであ の、宇治川の暗れ場で、熊龍源太 て恥しい身分でもない。 せずとわしの胸中をよく聞ける の先駆けしたこの四部高線が、武 - は今、中國と州の太守だ、何の 「対番々々。- -分つた面がまへ

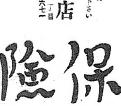
しなければ終ぶであらう

魔東棉作指導に朝鮮から技術

とある、からなつちや人間を他一分が天下の権を掘つたからには、 起代主で 美ひ書にされたは日常 うをふいたのだ。何と、気色のよ い。一一頓何めの肚をいへば、自 門には長けて、智慧は淡い男よと 左標な不利な軍は いれの状を題せり 間的を正丁軍を叛 国版?ーーーと、

寶朝の亡い後でも、この名分は明 では、大きな、小音が、一層の次震を と、他にすがつて跳言してゐる と、他にすがつて跳言してゐる 置いた

●外務社員招聘



ことばを得つ迄もなく、われ等臣。『左様な事のある場合は、殿のお

唯一の新貯蓄計畫であ そ 貴下に處むる最善

新貯金置本

お申越下さい

魔五分四 年 率常 配益 利行現 ● 分 五 年 率引割の科験保護期 ● 險保老養別特

【ベリ四日同盟】地震流言語レオ 紅一點キュー

の委脳に基き四日直に後隣内閣の に若手午後九時エリゼ宮に倒

(金運放會派)

となり成立當初から弱能を築落す 名といふ大世帯である、なかに

局性関係施に急進性関策の合作機

**耐獣の支持を得られなかつたが結** 

氏との交渉不調に終り社會主義

人民戦闘内閣はボール・ボンクー

した、社會派はフランス遊戏史上 **吹人民戦戦内閣の閣員名簿を提出** 

初めて内閣を組織したものである

同 カミーユ・ショータン 無任所相 ボール・フォー

(n)

1大人(當年三十九歳)あり間除

公益質屋を増

社質施設の顕充に顕命となつてゐ本的ではかねてから頻繁に適した て重要問題である公益豊富につい

ても委員僧によって研究され、明

一般でも東定である、社会施設として経動を設け、同委員 こ 一般の必見をが終として経動を設け、同委員 こ

三十三ヶ所、捷頭金額一子百廿一百三名、朝鮮人七千四百九十八名」ことになつた「竹墨瀬田一四四の内地の六百」に本府調金によれば内地人二千五「低利金蔵퉲総の彫迹販売に努めるまけると3000年間で、1000円

天地玄黄

とこの不快なものを抱かせてゐる

堀佐土 阪大・社本

でとれては趣い、後手だわ」
でとれては趣い、後手だわ」
でとれては趣い、後手だわ」
では、どう難ばします」
こなたから、不想に依然をのほ
しのちゃ、彼良等の魅を突くのだ。
た 「かへつてそれこそ、継続方の策
しにももっです、反逆の策と呼ば

なっなに いで送った。 と、四郎島綱は、 面に朱をこと

によし、老臣共の手はからね、陣 難といふか! が作は脱をたく ごりましても

京城府南大門通一丁目京城府南大門通一丁目

城大豫科の擴張

内容充質と施設完備

ア独直を作て、路ベルリンへ急行した、名取特派政はかつてドイッで記者生活を送り、またスア独直を作て、路ベルリンへ急行した、名取特派政はかつてドイッで記者生活を送り、またスア独直を作て、路ベルリンへ身 ポーツ通として知られてゐる。やがて本紙上にベルリン特報として華やかなオリンピワクニュ

一切の手腕を終了し用診歴り五日本心で起後の打合を終つに決定し、東京に於て配々複猷の戦闘中であつたが、窓に 詳細に特報すべく本社にては名取洋之助氏を特低すること る、かくてこの 記念すべき大館の 変要に活題する 状況を 側間の熱悪に 燃えて置えと ベルリンをさして 出渡してゐ 揚げよ日の丸!勝でよわが選手!われ等の難しき第十 名取本社特派員

- スは著書の前に罷り出づるであらう(忠誠は名取本動特派賞)

概く一萬六千坪の廣大なる地を識 計畫し、李上家から間長の北方に

既仁散備完全在班代式雨

内容の元質と施設の完備につとめ

と思つてゐますに現住集會都でも一つ作らうか。 感學部の回春和を利用してそこ

國を朝鮮的空路材製に献金 ▲江鹿道外金剛温井里金剛生とい

下端即原在1000年10日日 | 日間、東南思山湖間

■印心部城城北極▼ 真に洞金属国氏は、

**発局副点による昭和十年中の自動(鍋の意際直が、事故の多いことで)。 「東京教 あぞく能走の本所賞」名の多数に上り、全鮮第一の突通** 

標識の花形、自動画も優走命に比「日十九名、夏麟壽は一千九百十七」(死傷者の一番少い道は慶篤で四一スピート時代を流緞媼に足や交通(示してみる、職職による死壽は二一百六十八名の郷郷書を出してみる一般となり、賈錦を挙げてみるが、「和九年度より陳一刻五分の場加を「蝦都も十三道中これ発第一位で五餘とおり、賈錦を撃げてみるが、「和九年度より陳一刻五分の場加を「蝦都も十三道中これ発第一位で五餘となり、夏錦光器では発通事故院正に趙、忠淳故僚皆は二千八百七代で、昭「も第一位を占め、七百廿二代、夏

昨年だけの自動車事故二千八百件

より

脚送上にある京城帝大は、その一

てゐたが、今度而聲料の大腦充を

大僧損馬と生徒集會爲を竣工し、

分小月尾島神に投銷、初夏の海に八下トン)は五日午前七時五十三

**勝ラモット・クエット號(巡洋艦)芸が代の軍艇を吹奏しつ、窓聴す** 

城で頂線の夕べを属す野である。

【仁川電話】俳欄百機東艦隊、鉄一一行が艦を除する際も瞬間をうち、フトボールの試合を、十日夜は原

川に入港のフランス巡洋艦

東ゆきの列車が開城上城間を進行中

カ日午則等時五十分ごろ釜山誕安

樂しい上陸を待兼ねる

鉛白色の巨體を落づけた、町令官

V・バスタード中將、蠍長S・テ

の他権上年を急いである、有につ いいて東洋に握るべきトラックの

大城大連水器長は誰る 内容を元野するには何よりも

脳に、間話館、浴宿舎等の増築

脚野の総勢に ほこて悲りこと、全國民の財徒の中に、 関際オリンピクク大麿代表選手は、全國民の財徒の中に、

國際オリンピツク大會へ

會への事を かいしたものである

に引つよう十二日午個人時半から、「無野越失隊的令部では、隊長輕越

北周山郡沙宝面万井里建れ李鍾龍。たものである

れた――この学歴主仁三郎とは忠。訳などを提出せんとして掘へられの結果、大本戦難貢行の記述がは、な年號をつくり職権死に開発陣行

が生命作派、脱因は失戦後継人に 人を組氏(デが健児し、手間した) 是城公平町三八三仙草繁層方林健

む、七が四日夜服御が間中を回

憲兵さんの

よつて甘八日連捕された、取調べてゐたのを龍山腎盛等嬢の語動に

後の創品では「神猷」とい

てみたのを龍山高高等線の活動に、のため布敷中であったものである内をうろつき、怪しげな振舞をし、た本部を建てる記載で、原意頻集

武道大會

令をもつて水原駅で観響した。現「俯瞰を常聴する途向である。各道「虚楽は非常に心薬く思つてある」。まして端雲代一園を願ひそのまく来るだけ少くする場。昨年五月府「府では将来全幹に三百十ケ所に水」に総へ水俯瞰の顕光に関し、一般「肥遠東々人の金剛田守山の温深内や歐県前による故楽を人居既に田(萬人で水師味を仰いてゐるが、本「歌中で、家に本年度の雨季を月明」り献玄楽順を返してゐたところ過継代府では沖山、沖水の脚腔充貫「征では全群に百三十四線、繆哉」「でも本府」足道を滅へ水防戦を被」本匿名氏は徹氏協意に不合格となる様所では沖山、沖水の脚腔充貫「征では全群に百三十四線、繆哉」「でも本府」足道を滅へ水防戦を被」本匿名氏は徹氏協意に不合格とな

防兵器材質に献立した

失業者自殺

腹海軍を人の金剛山登山の道案内

山殿列山を京城へ直通させる場と「緑に連絡する場め三道連から馬

に工資約計製園を投じて今年中に

**?の存敬につとめてゐる僧誾の一 階級、直ら總祖となり、忠勇諭山歴年大王總なる都體の知れぬ影談("史)で泉神僧興大正觀なるものを** 

駅が北畠山に山)をりし、京城府 君草層面に維都といる御殿のやちゃの布数につとめてある僧侶の一 開教、直ら約組となり、忠善論山

義全線動像の取扱へ橋桁のつけ代

不間の水害地の路面と馬山線輸杯 部間の複線下部の外京登線倭館岩 四川江南間の政策、釜山鎮、三浪

怪しげな計畫や陳情書

うろついて龍山署に捕まる

聞いて呆れ

る大正教

もつたいない

進水間の路面を上昇理に京登京

へ等を行ふ外面々馬山港と京城を

年々の水禍慘事に備へて

官民協力して萬全を期す

七日に臨時列車が出る

土曜には金剛山列車も

全鮮三百廿ケ所に

復三國、子供半額である個三國、子供半額である個二時半京城奢で、大人性間九時半京城奢で、大人性の北岸・大人性の北岸・大人性の北岸・大人性の北岸・大人性の北岸・大人性の北岸・大人性の北岸・大人性の大きない た日午後九時四十五分京城 大日午後九時四十五分京城 大日年後九時四十五分京城

本氏の多年観光の結晶を取り観め崇慕されてゐた羅頭牛騎町意軽履 っため、成北旗物装編職後機會を 能れたる科學者として、 主た概節 京城の直通

になった、同氏は渡鮮甘蘇年来 公吏等有志の發起で設立するこ 羅南栗刺師會、同地収育者及び

すとして帰南の有法が慙起したの

山草研究に注ぎ込んで 矢盡きて内地引揚 なしてゐたが、莫大な財貨も、こない既がなく新乳に多大な貢献を 文献及び材料を弾り去るにしのびけることになった、この資重なる **敗荒の器、巻く豊ひ哉し、刀折** 同氏の送った標本は各大學に

主、齋藤氏

に製念し、高山、繁田、全田松町「坂大石戸谷藤師は蘇る」。 お財を投じて、極勢の蒐集と研究「である、その養助員C一人である

「私もその一人でありますが、 他複数理者で北鮮地方への登山 かつた人は、あまりないで、せら かつた人は、あまりないで、せら かった人は、あまりないで、せら かった人は、あまりないで、せら かった人は、あまりないで、せら かった人は、からいなどとしたが、 が、 からなくつてもらいなど一方な。

マヨネーズ

慎氏の同胞號 九日に披露式

行品で質問方法を指示して複数式、み続行画にご定言文で受却し、を行うととに決つた 悪計ばくろ

野菜サラダを

京城府長谷川町一一二〇朝鮮ポラ

智の態後を求め京城府内延折から んとしてゐる一味ある事を採知し

間害養鹽部舶は四日夜入城、釧路 財産をめぐつて、これを極取りや 全用電水器では、最近某資産家の

完成と同時に制物的ダイヤの大阪

施水三巻の海建連路設備の

武道大原を明備、出編道士は未知 司令那道器で全鮮五除男士の別流

所する景色あるものである ・ 一力必要の氣部る血酸を服 ・ 一力必要の氣部る血酸を服 ・ 一力必要の気部を消名

各地の鐵道を改良

何しろ戦場に於ける一騎討ちを一

道局では中央撤増通船に釜山、

て諸股の準備事務を進行中であ

の賦泥をさいた。

山高女と記合の舞った鐵道局卓球部

チンピラ窃

北生和は所不定が相な。()。他 五月の氣象概況

戦略の圏内にあった日が多く所謝 通つたことが多かつたから開地方 【仁川鐵路】 五月柳崎は移動性高 | 数は割合に少く削め磨部と北部 雨量は不足の處が多

月間の日が置いたので日間は可 超えた戯が割合に多かつたが中部 る程の事多であった。 多く歴史の如きは形と月半に差す い方であったが務のかくつた日が 状態である、全計的に概して小説 地方では僅かに三十粍内外で平年 な日が多かつたから作均風迷も弱

花春ごよみ 僧地獄の唄

喜代三

OR.

所製調

兄島小原良節

日八・七・六・五・四 (月)(日)(出)(金)(木)

良の方で平均須温も大概に於て平 全般天氣豫報。

全 化原油 国際の監督れたり 国際化では 要のたたり 昭 南東乃至 場つたり

北鮮は十度内外であつた。前して 南は十六七度、西鮮は十四五度、 年能の選が多かつた。脈略中部以

北/弱く 墨つたり 南/南美の王 晴れたり の至南東西 墨つたり

(宗近明號号) は さ け 振 袖 で さ け

政山中

き

の際に顧洛釈客盤山府草梁町上木で削川轅のスプリングを折倒、傍

一幅のスプリングを折し、傍

前員樂大齊大三郎(青)全南順天都 不も質問、単龍の損害は約三百国

総道局バス(運動手奈大者)が乘客

名を派せ竪岩普通學校前平中間 一日午後四時年ごろ順天観光州行

**詳人を終を開發した**した底が記念は不悪関級の通過四級終に謎でゐた七十歳くらみの第一とり懸分属目であつた。 雨を除ら 松雪點 日本海沿岸はフェン風の影響で他 **原稿へ時一時里の【明日】時** 仁川地方 【今晩】 南記

風西 鼠 単マイテル氏 などが嘘を

るところは流石。社交画ッランス一青葉の街に針セーラー服のスマー

藤夏の名の

し亂櫛し節

きみ

く投 が狂花づげ

高 本 人 形 衛 小 唄

東海林



P 6 6

器コムラ病院

小材 荣三

んせまりあは鹼石の上以れこ在現



眠鏡 科科科

定指御

**宗城本町-7**目 (郵便局前) **南本②5017番・振魯京城346番** 

超勉強中島大管 朝風呂開始

中村耳鼻咽喉科

壹泊金弐円三拾銭

のはステ キでリー

おそへも あります 菓子店に 五銭です

新聲州]新淡州に本年度中に二 無水アルコールを生産する大化學「新金州府に一大で塩地帯遺成の革」とするものである、經營の主人公 パルプミ無水酒精生産

|田で他の一つは木材の無明から | 南工場の建設の境は多年存製の 料とする鐘初の人組パルプ工場 して具脂肪工作に入りつくあるが ある でることになった。一つは魔草を「英国以上の大工場で、日下着々と「民は大きな駒心をもつて注目して 丁塩である。一つとも資本金五百

止に廢物利用時代

んとするものであるが、従来値か 折の後援下に大々的生産を完成す 無水アルコールとして登場するこ て我國版初の特許限を獲得、 政局用として城失されてゐた

盟かも

鋸屑から無水アルコールとは

**兼州下盟地帯大龍東化の第一步 を踏み出して來た無水アルコール | 生産工場は水が新義用が年を癒物。 胸するものとして重大視されてゐ** とは全く革命能な事業で新義州の

十三年前の刑事の繩にかゝり

詐欺

妙な奇縁に兜脱ぐ

全く革命的の福音 として乗て、駅内なかつた木材の

交運備でれた面白い事性…個人は十三年前に那へられた間で服事に

**第門開始、防衛、非敗など前科四」いつて更に三十個塔上行業が金を** 

神合から別師五下流一面に亘って 個所は不明であるが、何分離経済 を際した締約ではいよく~本年度 相次いでかねて京城工場部に鎌倉 中に新政州に進出することに決定 人小敷土の船々に殆ど無確認に叢 した、資本金五百萬國で工事が出 意識者でもものと見られ、日本早 する天然魔草が人圏バルブの肌 の脱料質格だけでも莫大の價値 工規の貿易を期待されてある も人組パルプの製造に大成功

これまた一大發見 できた。 して二つの巨大ならのを崇料として二つの巨大なのをいませい。 選生することは頃に塞ばしいことと思ふ、無水アルコールの計 とと思ふ、無水アルコールの計 ところは明宮出来ない、いづれ たった。これも現在の 、年前の道路敷地で 江面生岩里に行き扱売者で民卒。なかつた石十国を彼河着に殴させる条門市務所を出所して南原都帯。カリ泥を吐かせたよ、また費消し

全州に来り多佳町の沿幕に泊り込 楽田容と共に五月二十日自動地で と甘喜で動って五十旅園を許取し、ベ中

留置場にプチ込む際髪な関付をす

風の弧か者が玉犯目の詐欺で偶然。取り寄せようとしてゐるところを 島郡巣鰡面郡駿嫗(き)で本年二 断動務の折脳盗で崩へたのでスタ 全州害の八番順事に施べられたが 犯人は八番地事が開ル面己能性在 石で殿り付けたが『人殺し』

九州荒しの

### 再び表面何野人に復職し常々病院 | 舞で腹訳個所に崩薬中、息子の苦 | 水自殺を企てたものと前期・数節 | 香詞 | 六金監禁の要金征職(も)と 鮮同胞が概念を納めるのが確さに 【奉天】支那に歸化してゐた一朝。とになつたので二年前來奉、今度。當ひがよりに散々職打するのでそ 支那に歸化した同胞の醫師 は頻鮮人に早起り、民間の許可を 重課税を恐れて復歸を裝ふ 國和

は過数行はれた下土市開放総に落一級で展院と開業したが盆時振日が、日本後も時十分頃次回傾露ニビーちて以来極度の神神を弱から日素を強んで原院と開業したが盆時振日が、日本後も時十分頃次回傾露ニビーちて以来極度の神神を弱から日素と 高震等級に近神され目下線統督局 | と明楽し、触校行得を行つてゐた「通教授人妻で二年間親の能校が器 した所年は同女を縁案へ引き後し勝寿政で二年職・四日午前等時頃 | と明楽し、触校行得を行つてゐた「通教授人妻で二年間親の能校が器 した所年は同女を縁案へ引き後し高震等級に近神され目下線統督局 | とのまた。 とのまた。 とのまた。 とのはある 厭世身投げ、[上張]

で取調べられてあるが競走の威略 主動治を氏(\*\*)は民國十二年に吉

時級薬間演習中突然行方不明にな

大師】 既報、去る二日午前十二

高霊で就縛

脫走兵

|で適出國人には一様に課題するこ||國つたものと判明||トールナオースク資政治路の発園||辞蔵人夫郎任藤||-のを恐れ支那人に踏出、野業を関視の結果所の新里三二市第二事下網が開めて頭野人名義では崇担される。十から投身自殺を選げた男を通行

カフェーで暴れて

2)香山間の陽谷トンネル内を保線 【平集】二日午後七時頃北新遊、 小妻不慮の死

ラバラ死體隧道内にパ

### の基を逃げ出し削頭を派鞭して入 列車に繋かれたものと見られて

は三利町あけぼの食気で小渡り 職人數地奉太昭("+)は四日午前 尺の刺身履丁を持ち出して再び **歯が離前の上記罪をはじめ、果 | が収調べの結果、生薬的異状期の信ぎが耐め上記罪をはじめ、果 | が収調べの結果、生薬的異状期の** 時頃カフエーローマンスで飲酒 翻南浦】府内三和町主政党即襲 | 国)と日ネル、黒モス等を再引 一般に、取押へ平置書に突き出したて逃走せんとするところを店費が 臆病な强盗

コックに斬りつく

題し止め男のコック議順吉なった

ーマンスに乗り込み女給を追ひ

の下腹部に斬りつけ腸露出の重傷

質はせたたが其場で逮捕された

若妻の萬引

山里級物簡組風形方に三十歳前後 [海州] 四日午前四時頃海州呂仙 慌てム池走

午後六時頃三中井百貨店で買物を一根して小刀で主人を脅かして逃走 帰里金買取の要金小女(た)は三日「が出し大野を続けたので怪物は復 | 平場| 平開大同郡南兄弟山面癿 姜氏(二 異狀期の罪 妾氏(二)が脳を脱まして届外に飛出金を迫つた、物器に及いた実女 起して底質に弱してゐるからとて の怪雨年侵入し就股中の組を揺り

寫眞機泥棒 大田に逃げ込んで

在流、躺本縣天草都里地村

などを初取して朝鮮に高飛びし大 立論、前本南陽下で島風帯慶邸趙 貧乏豆腐屋 自殺を企つ

増き込み手當の結果生命に肥健はを家人が緩起、驚いて道立路院に

いた』の電報で熊本北書の活動と

なり同語の嬰村邢事急行し大田書

徳山曹通學校教員を脳託す 咸北辭令 (二日附)

◇····· [全州] 町昌

能してその前夜の

本館へ証文あれでも類似果は既目ですから他の店へ。又は規則な全國の栗店にて販費する品別れの際 内 善進堂

について御不識の既は本語で詳しく。 中がよくなる名葉 中がよくなる名葉 でも、音が後 でも、音が後 如東取粉 の赤ダニ・青虫 4く全滅/ んが。あぶら虫 家寓の 10 HALTHE ▼液体殺虫剤と比べて キャメータンを強くて 大阪省。火仁不可 株式 今遊 化學 研究所 H . 3. B 法人人登記公告 三川金輪組合 (壁里) 退合長橋在 東川金輪組合 (壁里) 退合長橋在 東八 田頼光彦平四月派后応日任期 海丁 1 臨離代會 1 位 テル盟セラレ 大安金融組合(経史)組合及幸雄大安金融組合(経史)組合及幸雄 京縣 京縣 東京 京縣 大安出張 所 京縣 大安出張 所 選手が開始 (選集) 組合 (選集を開始 (選集) 組合 (選集) 組合 (関本) 組合 八國同日間代會三於子再進展 公昭和籍費年四月於邓日法期 公昭和籍費年四月於邓日法期 可含至平四月參拾日左記此優二 法會駐朝鮮殖座銀行變更(支店) 京都院高(W出版) 京都院高(W出版) 京任期間方・付き渡り組共再選 京山和和新選年五月雲日重任ス 原和第選年五月雪日重任ス 東西 京都地高(W里) 組合長美然 機工の際組合(機更)組合技学 近日本五月九日和社会工作人工的工作。 の一郎の民主の大学を一月九日日に再続 の一郎の民主の大学を一月九日日に再続 の一郎の民主の大学を一月九日十四部プン にはれた。 の一郎の民主の、組合技学 を一郎の、組合技学 を一郎の、組合技学 再選セラレ重任シタリ東京市時月武治五日株市総合工日株市総合工人・大学では、日本の大学では 法人登記公告 法人登記公告 孫聯黃州出張所和指臺華五月七日登記 網技安出張所 

夏の郊外少安春平野スケッチ 無水下ルコール生産工事も鏡前 の進出も本年度中に設置される 工場が何處に出來るはか今明言 出來ない、素ご振及的決定を見 てるない、然し振水アルコール

赤鰡と入れ替へて大儲け

軍需景氣の蔭に躍る一味

成興) 軍需要軍に罪のタングス | の傍、恥近各羅山の人夫から少量 | を引入れ、朴に黄金百數十回を提 のタングステンを買込み成果に通 三名を成興で逮捕

秀は現金出資、語彙の南名は第カーに山田重義の土地館、思青で動下 三名は本年鑑三月新下里に李敬(第川のタングステンを成典に謂之。上に自分等の購入した部裏にタングステンを成典に謂之。上に自分等の購入した部裏にタングステンを成典に謂之。上に自分等の購入した部裏にタングステンに驚惧した 供して駄馬二頭を勝入せしめ運搬

**ルステンを混合して百五十** 

造五十銭銀貨一枚を認見居出によ 既旧後現金の調査をしたそころ賢

殿道拠査の結果、三日桃一天を除 不足から副鱼の結果、赤鰮なるこ 水原】去る一日強産銀行支店で 水原に贋造銀貨

出版中のところ、去る二十七日城は資金上日旅園を開へ前部各地に

味の恩事態費したので一に第二の極寒時間事件を提高さ

多大のクヨックを見へてゐる ことに新興都市の遊路建設の前途

虐待された岩妻

悲觀して魔の明岩堤から

に支援ふべし」といい報決を下さ 訴となり『三千二百四十<u>回を脈</u>の腕利義務を繼承した全刑府が れ、その物決がきつかけとなり更

を耐巌中、端なくも八年町全州 断計畫に基く大理想の市内各議 に下水にその面目を整へ、今や

> をり、全州府ではこれに動する戯といふ第二の擬窓脇族を提起して 五十一圓を支拂へ

でこの間種々こみ入った事情がいるり、権利侵害の日より既に八十百年の立起きに當つても、国土百五届の変更する内一千百年、田にの立起きに當つても、日本のでは、日本

品を健見したので酸重取調べの結

地に於ける同人の共犯は签山で選

簡単多田祭吉氏の話

多田さん満悦

州府が敗け戦

當時の手續不備の責任ブチかぶり

飛躍の前途に暗影

第一の事件は上地所有者金成激 ざられる として興味を及源氏、家屋は申光日氏と変渉 弾人として戦歌する事になってゐるとの事で贏事申光日氏と変と でんこれが成行さば第二の訴訟事であるとの事で贏事申光日氏と変と いぶにあり欠永勝一縦渡士を代氏の印を取つてゐないのは等は といぶにあり欠永勝一縦渡士を代氏の印を取つてゐないのは等は だられる

惱みの四十

【護用】二度離出して三度目の

投身自殺を企つ

て着物のまゝ飛び込んで教助した

一稼ぎした上就縛 手常を受け生命は取り止めた問中を近隣の人が辞見、唇師の

明日恩原部設で選手器は、「出の十銭の支援の支援の大田の銀線を日前が登録を、「出の出場を日前が登録を、「出の十銭の支援の大田水ないのが日本などを労用してきる。」、「一、「はなっている」、「一、「はなっている」、「一、「はなっている」、「一、「はなっている」、「一、「」」になっている。 田中、郷里に打つた「今大田に晋 升を吞んで自殺を企てたが苦悶中 を派に病み、午後九時頃ニガリ五

密で安全な療法

64.2

(5) 戰合圖漫案新難。型亂

2.5

-1.6 12,9

5,

65 5

2,1 . 2,12

7.04

, 1,877

六 月

松準調にして一日盃に一個常用にのために関係されてゐましたが、

、飲むと効果があることがわか

2 日位かくるものでせうか 日位かくるものでせらか、又取りらるとすれば酸 ぬい

破が大ヶ

おも思いと除去田来十強いと施頂 となり却つて観形を残すので其加

園庭式本日に女高

ばか

- 7 《昭和4年•東京帝大小兒科講》

41.8

松の葉は都曾ではなか!

みごり酒ご松葉酒

《答》

瀨戸病院長

1,5

松のみどりゃは日本音楽で有

め、老人の動脈派化をふせぎます

入り継く、またあつたとて、

ハイキングなどを有効に

ヴィタミンじ これも間接を

が、そのみどりの松の

歌であるといへば『まさか!』と 和茅が、御館人方の美人になれる一

品の開門

腐敗を防ぎ、胃臓を掘

胃や胸の中の食 防ぐこと

れらの葉の帯を分析してみますと

松のみどり

えであるので、

能をどうしたら一番味よくなるか 以上の如き有効成分をもつた松 その他、膨脂、ウイタミンA、カります

統上病院

とは点夏の様な日光の強い時に の班に似てるからでせら、 夏日班といふものである、谁の聊

ふとは、永いこと考へられた その強いシブ味といやな臭

で、この松にふくまれてあるこ ない方があるでせら

ます、この中で、一般航空しかも美味しい召し上

みによって湯とか水を注ぎ込んでいたよけばよろしい

なほ毎の一粒

オレンギの一片は飾りとして忘れずにお入れ下さる事、

オレンデにはオレンデキュラソー

スコップの中に牛乳一合、それに

**なこれに惹をして、性に取りつけ** 

露次を加へ、劉邦一個を割り込

語命の至るは正むなし、圏らずも

の上、父兵版が、亡極から誤いた

から村方の部が集まつて圧電工館は、昨夜の一個一件を話し、これ は、昨後の一個一什么話し、

修造の金を得んと托鉢動化中

はあらず。只今も申す如く、

な、ほど)・\*・\*\*\* な、ほど)・\*・\*\*\*

に振つて、否、かならす金ゆるに

交番に は

れの説明でもあるまいが、さら ないといふまでに勝世から置いて これを知らぬものがあるかも知れ

埋めある金ゆるか?」

して貨幣の迷うたは、

で世に無きものと思うたが、 や。幽霊などとは、全く、話のこ

人の一念は恐ろしいもの……」

と、嘘き。漸く本堂の明るく

又兵衛は、亡遼の据にジット職

役明けの色が迫つてゐた。

工正 伯

美鶴

顔をしかめ

レモン絞り點で果汁を取り、コップに四分の一盛つて、砂糖を山盛り混じて、

銭,一圃以上ならば近い所へは配っとになると、中々平民系のロロはれたが、これまた一人 前五十 | 定つたり、金五十銭---という

前といる言葉が使っ人

つた、サイス・クリームの担塞は、ようかないようのつとこれのから、逆するといふ大した振れ込みであったとと表表が地方の小難顫へで

の代動となってしまった、おもふ に大正生れの青年男女の中には、

も行かないと、めつたにふつから

題話の綠新

押出すアイス

二百年の歴史附

りを占め、これが大正初期までは

大活躍したものであるが、現る

いのですが、確を討さずにそのまり

ルク

り方はいふまでも あまり一般的で作

雄の巨種味があるのではないかと 術して住べたいもので、ばッとミし上る方が難いやうですが、あれ の間まりかけた知名し上るところ 紅の花を吹かせ、やがてミル

日程置きますと砂糖は溶けて遊が 解除の物のお郷で、よ方には蓮の帯 小洗したら砂糖を振りかけて

種數方り上し召いし味美

取り出し降いた氷を肌に盛 った内皮の園側にナイフを

りかけて金卓に出す 添価値 山を注き的砂糖を 人れ中身をくずさぬそうに っにしましたら報花形にな れる方法は外皮を去り輪切 夏光

プは物優い勢ひで態脚運動を出 | 灰る眠りのスピードで廻せばる

継ずこと約五分間

御座ります。それでも地中に用め 寄も其做となり跡には威が押入り 拙作は鬼野に入りまして御座る。

なるほど。父兵衛が聞いた

中な調べて見ると、

日ぼしき物器は膨樹生りまして **担信の死去いたしましたのもは、** 

として明朝の金後にミル

種だが何時の壁にか訛つてミ液、ミルク・シエークが正し

中と呼ぶやらになったい

ブーッと他を吹く資金色の牛

村万の省も、その不思議に危

以上の各族分が全く組合し

める等指で動

州にかけての相構は二十五銭と

つて大阪前のものではな

上る程になります、その上で毎を取り

ると、 うが、苺はガーゼを二重にして濾し、交オレンデ、夏野柑は 一部、オレンデ、要害者などエードの作り方も大概確存知でせ P69696969696

一井のために不道郷ですから出入り に山に登った時に注意して手に入 の頃の松の新男で造つたもの、松 れるとよろしい、みどり酒は、 の値水やか、また週末ハイキング

指でも沈原物多様に出る事あり例 全治してるのでないか原には健康 【答】潮戸病院長 淋栗

除版立てないとすれば、一杯

しそれ材料の所味をやかま

大ミルク創他の通出等と相待つて 撤退をついけた戦水削艦の震災、

も出現してゐるといふ有機であ 恒木や草花の鉢

米るといふとですが、新しい組は ッなり版なりに五分か十分伝言 上票が終ってないために買が 空室や水気が自由に出入出 航本の議院の 縁のよいこと で際は必ず水を売した。

た水は鱗の方に吸はれてしまふ で提角の単はすぐしをれてしま そのまし使いと、航込機製 一ウム、然らば其金を、

などできれいに洗つて、これも水 の観賞を妨げますから、タワシ ぶ場合には泥やコケをつけたま たと今既は至州が通はず、 文古い潔焼の鉢をもら一度 に知らせい

れば、何れも逃げ行き、降々、諸 ため に四 年が間 鍼夜、これにあ 匹事を紛まんと気せば、これまた 脚を行題の僧がまありまするゆる

校委女高一第城京

ね。顔はくば、此間をひとり浮か 称して幽霊寺などと違いたし、 ばせるため、何辛、<br />
只今のことを は全く近路る話とても御座りませ 頼む者なく、里人等は、この等を

館陳列替

德壽宮美術

又兵衛の豪腕を置めた。 所で纒の木の下から掘り出して

呼び 集めてい ことになつて、 そして、修職数の不足する所 仕事を急がせて、 圧匿多左衛門が一 帝の 住職を

あたら<br />
適當な方法で<br />
しみを扱いて す、もし果物のしみなどがついて をかけてほこりを落してしまひま いて後日光にあてよくブラッシュ

方ひましのルセ

いるのは禁袖口を推選回で拭 る時分あまり汚れてゐな

四は特に宮内省から御物山岡米華目行ひ三十日まで陳列するが、今

いれ、これに大倉男家より職山大

里人に告げ知らせ、修覧気ずやう

お託らひ下さらば、かならず、共許

の保作週刊八景や平尾黄平氏所 の青緑山水圏の御貨下げを売許

讀志娜

は不思議・出家の亡憲は、

一ひ、恐ろに供養した。

いひ終つたかと思ふと、

鑑賞男夫的第の日本遺陳列替は三

大物澤山です

これをおしまひにな

いの時アイロンをかけます。

えらびます、中には山かげになっ

らにして約一盟間から多くて二て、日光に直射します、このやして毎に九分位に入れ、密閉しは氷砂勘を約年庁位を水にとか 心人がありますが、よ

い沈濃が多量まじる膵もあつてが見受けられます、尿中には白が見受けられます、尿中には白ところが昨年十月頃から時々原 ・年十月頃から時々原

他能反病といふ似た病刑がありま 止。クリームが市中にあるから之 ずが之は日光になるべく無たられ ける法がよからう、 廿八歳の男で十が八年前

父アルカリ性の原は第

おたしりまんじこ。たしま来出が関連式本日なうやる見に資為に症 本日朝に獲の然自でれて、りあもど方頭症可はに期の他。かずでの の間時み休、すでうさだ旨趣ぶいとうさ頭を育労強制のトラリヒス すまるてめ縁を面の抱いし美てつ集へいこだ遠距生に毎る来 からからに乾いてゐますから、 は素違にかぎる

水分を吸収させてからでな

せと申されるか? 殺して威かんと思ふにつけ、

でどうも強性たことではないか。

『さらば、右の金あることを里人 一日も早く、此帯を修 此寺を、建直さうとして、これほ

どの金を貯めるとは大した鸕鷀ち 『それにしても、交兵衛でまは館

⋪.

て、丸の語を聞いてやるとは、 でうる。いまに天下の楽祭さまに 『全くだー人の怖れる脚選に習つ

本舗 東京市豚布區鼈町廿 過齢がう 肩腰の **夢**肉 のの 渡 邊 輝 Ø ・ 一番地 ・ 一番地 朋各最店にあり 〒 一 圓 アコ ギャル 東 カ 東 カ 東 カ

/敵の康

べき程に奏効す。 障害物たる疲れ

正人通り報望スーーは登出している。 一、「大格五口一、「株公工タル田介部」という。 一、「大格五口一、「株公工タル田介部」という。 一、「大格五口一、「株公工タル田介部」という。 一、「大格五口一、「株公工タル田介部」という。 一、「大格五口一、「株公工タル田介部」という。 一、「大格五口一、「株公工タル田介部」という。 一、「大格五口一、「株公工タル田介部」という。 一、「大格五口一、「株公工タル田介部」という。 一、「大格五口一、「株公工タル田介部」という。 一、「大格五口」、「株公工タル田介部」という。 一、「大格工力」」という。 一、「大格五口」、田介の「大田神子」」という。 一、「大田神田」という。 一、「大田本」」という。 「大田本」」という。 「大田本」」とい

日二四のトピは「た子四」

評解 篠原正美

到合ひに、金髪に動いて希膜なの文……プロギクションの超離狀態

ーダイサチッ三 ンロトシンボリ

**当局者のことば** 

つものでしたか - 岩岩剛(甲)となれば好調を得

(黒) 二九で三四などは、悉ら、如く「と四」のコスミがこの場合く本形ではないでせう 適可であらう、犬ぎに黒「る五」とは、「海・川・川・ビに」、「一人と既迫するのは、この手でました「と八」にトンで徐々に打「一人と既迫するのは、白『四四』でした「と八」にトンで徐々に打「一人と既迫するのは、白『四四』でした「と八」にトンで徐々に打「一人と既迫するのは、白『四四』では「一人と既迫するのは、白『四四』では「一人と既迫するのは、白『四四』では「一人と既立」では「一人と既立」を強している。

タス氣人

一部方面もあまり架でないといふ事

を、此頃になって始て知りまし

の表れが、揚げられてある。

行く――といふ形式には、恐らく何も全部プロダクションでやつ

手が引れたからといつて、配給も

グションは大量本系の息がかくら

こうせ、小資本からなる小プログ

出來ないでせら、作つた作品を、

上井

へほには

(制限時間各八時間) が は (元二・二三

日治から襲つの位の補助を

びプロダク

ちつとも割つ

即

酸を待つばかりに完成した大競技場外各所設

會を待つ

準備完成のオリンピック

施丸投口 二米二二、海便投口四三米八百

六米二〇と役跡に平均した質力を「を形成するものは彼であらうと

得た時こそ完成されたものであら

作氏语導の(R城群・島社は今回等)

は寺井さん)は寺井さん)

の御案内で大スタギアよ御見學のデンマータ 備を御護遊ばされた鳥頂はレワルト博士(左)

米銀に眠さ、先う経典野球部の斑。の頻繁で、スタープレーヤーのあした云つた巻のリーグに優勝した明潔道、明治大学、慶楽教育チームの「部とは勝を覗が眠くも取れた職鬼」う、次は早大選起で五チーム戦闘落を告げたが、大月の場界は大賞「衝野域で発見療を職つた東京野楽」白い政音を破ることが出来るだら前状期報で撤出の世界と称り、数」「大宮(鉄道」は、「昨年前市財」担手チームが決定してゐないが面 のトップを切り十一ない代りにチーム金體のコンピが一治大學チー

歓迎·日本の精鋭

來城でる陸上選手プロフィルと

ムが来の、校友會主作

職業團中の俊 タイガー

スとセネタースが楽能するが、甘

販ふ六月球界

職業團、明大、大宮鐵道など

續々京城へ殺到

一ノ三九

京城竹添町ニノニ八

同古市町三〇・水同遠孔通り二大ノ 上石

同地町二ノ六一 湖川百合子 綠

十一聚で、四日級正施籤の結果天の人々が當た、総投票十二百四十一票の中途中課二百四十一票の中途中課三百四における首位打者は極銀小完辦選手と決定したがいる。

首位打者懸賞當選發表

一等 同南大門通一ノ二八

場で言言

監督木村班十二

舘

・が持つてある苦い經験世の、 を出めて自然を出め、 が持つてるる苦い經験を出め、 のであせの敗緩者になるだから のであせの敗緩者になるだから のであせるだから のであるだから のであるだから のですった。

ス別全京城町、廿一日は職業監

日は職業期到武第一回職、タイガ

にリーグで試験演み、除力を掘つ一んである

れた、無効は十五票といった。日本の日本の選手に分散して投票された。無効は十五票。本売患者(強)百二十六票。本売患者(強)百二十六票。山田十五票、山田十二年十五票。山田十五票、山田十五票、山田十五票、山田 )た、なほ中島君(勋)は三百十六聚、山駅で、四日級正抽籤の結果式の人々が當

正幸 八助

矢田喜美雄君(津) 神野一代女 新版 医質出版具隆 T 松大郎 医質出版具隆 T 松大郎 医質出版具隆 T 松小郎 医質出版具隆 T 松 新版 医質出版具隆 減鬼

田 (東) 三代子 歌川橋技 (連音新人 三年 東) 三 原代組色質機良幅 医督佐々木内 原 加州地位 大変銀票子 銀大寺伸 高杉 深知野生 ない 一 原代組色質機良幅 医骨佐々木内 底 八変銀票子 銀大寺伸 高杉 深田野 東方 原 大変銀票子 銀大寺伸 高杉 歌川橋技

無共演 をつた一人の女 な言れぞ、歌川縄技・徳音新八 の一之田野、雲井龍之助・小泉系 の一之田野、雲井龍之助・小泉系

調中中部 カニがれコンピ 瀬口斯太郎 CE 原作田中榮三 監督等原政久 常沢花館

いから將來の大物と目されてたが 総早々光電木村の持つて居た日

バネを失った歌があったが好法

オール・サウンド

亂痴氣騒ぎ

男 松本田二郎 公既領
「 鬼上墓五郎 帯木忠 田村邦」
『本代忠・王演 毛利峰子 自行明 現 妃 殺 し

**酔となって現れたが、外陸運動と
オームを破究しつム、三百六十** 

声い鳥舞踊曾

六日夜七時から京城附民館

寺井干惠子さん後繼

洋上の感激

気持氏が後見者になったがそれを

記念するための電話舞踊の酸戔賣

-ガアスのぼ | 日ハンマーを投げ続けて遠に今日

の努力は途に六八米五九の日本記 [ら 町オリンピフク選手の長尾のフ 退の運命を態度なくされ、其の後一大のグラウンドで小さくなりなが

か不概識に終る事が多い、今度の一の大成をもたらした、彼の持つ

住害以来の人質の夢を實現して欲一質の境にある、好談自重して不

の投稿競技の高め財産な一類を思

矢澤正雄君(平)

に弱くことになった血目第一部は

りつけて思ひ出の作品、第二部は

待されたが、戦ひ利あらずして収

て題ばれ、任皆と大いに語酬を則したなったが、厳茂への憧憬

大川の統由中學を出て顕大に進み

長尾三郎君(四次)

爆克漫歲名人大會深海

エリノア・ボウエルニジャック・踊るフロードウエイ

己城製場 團大公演







ガラニ ハタカッテガ トン デ 居 タ・ス 花パタケニ蜜バチ

貴重なる南倭副祭映職! 

たりには、

トス主演

門、久保霊蔵、松田定式ーキー超弩級次作 の武器戦操と選がイング関が美いかの一次に手ないの一次に手ないが関が美

ジャック・ベー・ティテア・エ

・ドウエイ・ドウエイ デメリカ映画の でも達者さを持 でも連者さを持 でもである。この傑

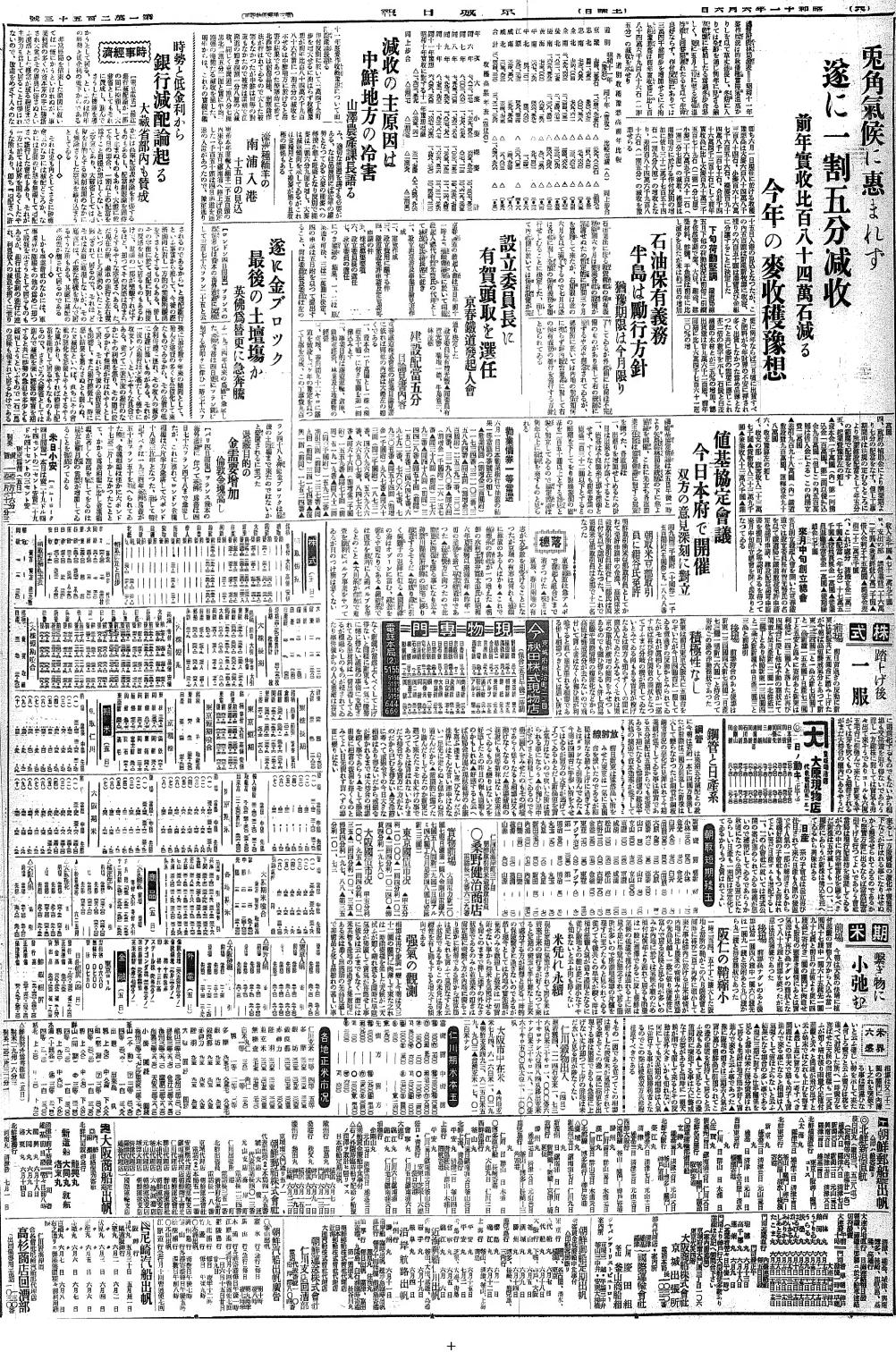


と印しますがことの大徳生民神師で、180年と中しますがことの大徳生民神師の「1800銭」を

今日は一日が重い ボンヤリする 記りましゃ 北人が進まれ こんな時に 

社會式株酒麥鮮朝

### 快味! 息もつかせず グツト一杯! 鷄卵四個、牛乳三合に等しこのビール一本の榮養價は



が移住の費用として 復活」を完成して、彼は憑

**走非讀まねばならない。特かざる書として、家族の一** 

な岐路である。君が青春に悔安全性を確保するか否かの重

要望が勃然として大衆の心底から衝き上げて來今日、トルストイ熱が、彼の溫かき手に對する

に社會である。社會不安、生活不安の聲高き

が具陳されてゐるのである。併も翁は生涯自

刑罰と犯罪等に關する炬の如き改革

反省の鞭を収めなかつた。その假借なき自責

全卷に火と燃えて現代

國八十錢(塔)野第一 申込金一圓一冊一

回配本全國書店に て一齊發賣中今す

實物を入手あれ

刑法讀本と復活

解放は犯罪からの人間解放

接には貧民救濟の基金を得る爲に書かれ、

のは餘りにも當然である。

復活一篇の如き

から生れるものゝない世界。

質乏と病氣と犯罪と

恐ろしき人類(苦悶と反抗と希望の文學)

総の果に石をもて故郷を追は彼女ほど日本人の胸に近い女

傷だらけの「復活」

全世界の戀人・・・ 籔睨みのカチュー

岸

見よ!此の賑

讀物陣の壯觀! 近時物凄く 富士」の人気は

讀者激增、賣切 賣切の大盛况!

態の大受難

料は一千圓涼子の貞操

藝界面白帖

高潮! 場面は愈~本筋へ! 妖しくも興難げる情知の喰意!像態風詰るばかり……千姫が、美男の若衆主大人に吉田伽殿に引き入れて、 ラを 炒く美女千姫の桃色行狀記!

い讀物はない!と壓倒的の人氣!

古田御殿-郭枝

変路の浪唄ー田中純 **達加速** 

瀬露國境の風雲急の

時、憂國の至誠に燃ゆる全同胞に贈る熱血篇!

99の爲に慰も人情も振棄て♪就然と死地についた悲壮な心情に泣かぬ者があらうか嬲れて何百里。 タホルの本い造成で趙國の鷺花の命を無疑に取らした若き緊閉宮とそ

| 条新家庭今日のニュース 

含まれてゐる。父が子に說き論ここにはあらゆる靑春の問題が

― 靑春を偲び亦春靑を切が藝術化されてある

特に結婚前期の若き子女

護身の書として

**加力的基緒院特。然服大日本推撫會講談記(語語)** の怪事件!意外、犯人は若い美人とは?の怪事件!意外、犯人は若い美人とは?

行! 韻 大倉

精論 海底怪魔境機 計画

部脫線今孃雪 養士服玉人乱れての大陰動

続る戀と武勇の色模様!

北総あり氏体あり、事件は大波響し、面白

(のあり、)以(大)あり 事件は大支護・面白い事では天下無類! をする気がもいいがは果して何?解又要女の所説に帰めて人物がき場! 早くも彼女を包む解説は果して何?解又要女の所説に帰勤する狂人はても能者? とは露知らず河道長者の一人郷で名代の実人あやめが、高祥・人目を継うませた。 源 秋 田 騒 動 翡

で最も風密りの良かつたのは内が

内務省開係 今度の最前

食であった。これは政策の国際に

からであったと思はれ 文・取締の南法案が何

職積立金及 退職手

の配識に新規要求國策の排影方を

部局に於て夫々成器を急いで居 合せたに基き、これに間に合は

最に依つて編成さるべき一葉草の大綱見造し、新國的計造の

特別議會で成立した

新。法。律

べく國院の摩算化に着手し目下

御軍が

國防

算化に着手す

**今月末部局長豫算會議を開き** 

新規要求の大綱決定の段取り

ことを確信し、今後逐年激増する

概要脈に年度別りを是示して目安

法抱礙の意思なきや否やに馴

**宮見、文書を以て深州政府の** れば、同器領事は有田

蘇提携を强化

佛新内閣は

て整國緊抑制につき斡旋を要記す状めると共に、國内の事情を説い

首相は制数案を継る疑問とイタ と見られるが、一方ムツソリー

存行機関新に顕するため、水や十つたが、今回の地方長官戦闘が三日目の内 方長官に関し自由計画を育し、地 が懸照者が健康を行き、候にや地 方長官に関し自由計画を育し、地 をいましめ、標力の適用を権力 能の意義を関的に明心し ないましめ、標力の適用を権力 がある。

を聴取の上、内政政策を實行する」を強調する訓示を行ふこととなっ一める万銭である

|極脚類を||電するため、水の十一つたが、今回の地方長信爾語に於「東京電話」南内相は内蔵改革の段||上の重要著者資料とすることとな

ならに週間野行に陥り人様を除い、同学に流れる行列という。 いが、中正公明なの情がの部行 にが、中正公明なの情がの部行 にが、中正公明なの情がの部行 につて適準することは含を依 を行つて適準することは含を依

極東艦隊除外

英蘇の妥協成立

レーギー外粉天宮網、フイリップ【ロンドン四日同盟】英國代表ク

下げを行ふこととな

ち五厘の引

ス族軍所被職員「ヘリーマン教派

は去る五月十五日一旦鹽鹸を打切時間半に及んだ、ソヴェート代表

「東京電話」グロテマラ政府は五

<u>像大手</u>二百四個、後者は一個大百

IJ

大月三 日 大月三 日 北部岡船組 河部一三番 大月二 日 大月二 日 田原延備支店

大月四日 代型語 富田 配會

大月五 日 物師以及文店

信頼金の昨年

で、之と併行 か、その後市

Ø

**本日代** 代理店 國際運輸支店

**植廢交兆開始** 

日個内におけるユダヤ人およ

英國海道省にて實験をそげ附顧二人他、チャスキン武官は四日午後 目前にソヴェート代表マイスキー

> アジア人壓迫 グワテマラが

m線外に翻する関係保頂について

**総かとげたがその結果、極東水「びアフリカ副人の工程簡貼新聞を** 

ショル部代理公便から外別省に選(一窓接載証氏(劉鮮

大統領令は更にその範囲を購入了

政府との開係を調整、型職品

の東亜政策に影響を及ぼす

務當局注目を排

に在き三日ガレット

とて暗劇政府の脚乎たる態度を詳しを要求し解談を打倒つた、かくて「恋宝の情勢となったとて暗劇政府の脚乎たる態度を詳しを表すし解談を打倒つた、かくて「恋宝の情勢となった」というでは、「おいましています」の ままえい しょうしん

水入らずの資語を遂ぐる原定であ

百相は獨規南國關稅調稅級を提、右國族においてシュシュニッ

シュック押士も所じく間他に起き

全地方長官の

史道波麟の墓蔵は特に繋烈行或の てあるが、この内相の抱拠する

たが、内務質局の企圖する地方税

員會に地方税制の全面的販革に関一大綱となるべき地方規則は左の知識的

預金部官

īij

を加し明確される税制改正準備委れてゐる、即ち今回の税制整理の

制政正の根本方針は、地方財政の

自由討議を許す

潮内相が内政改革の 重要参考資料とする

経成があれば内相自らその疑

に指みライオンス首相とも関連打

**慶法の設則を決意したので、かそらかの総後的決定を暫促した。沙も依に記さらまでいる。そのを対して設明と必要能する必要に出られ道。かそらかの総後的決定を暫促した。沙も依に記さらまるという、今そを得によって劉亢し、我が「加に取って説明と落情或所の家る」願意収定活動を中心とする日露交手段によって劉亢し、我が「加に取って説明と** 

一一ガイッチ外が大官も該別型に急

--たが目下ヴィヤレシオンに待

一その抗導的青州よりしても政策・一、野猫安全保職強化を要求する一方

を濃厚に反映したる具體策をと

独閣係上より従来団様一時的趣は心すしま歩調を一にせず、對しては頭部規約一點最りの英國と

昨日三相會議を開催

到支問題等を協議

わが大陸政策に訂正を加ふ、き時機に逢着

の赴任前とに、内二四男人

り、ブルーム内閣はかかる傾向り、ブルーム内閣はかかる傾向と思排撃を反映したものであり思想疾命保険強化及びファッショ

博を型化してドイツの脅威を肌

れた南省の資誠内容を競談して帰調し、去る五月二十八日 左翼内閣の成立は必然的に伸蘇提

務當局は同内閣今後の政策に深あ 任日を掘つてなる、質局の観点

**帰の能業團** 

現場撤去の要 求に應せず

にも影響を及ぼすことなるので外 拠を強化し、右は蘇聯の東亞政策

一首相に帰便趣意路を叩きつけ 追照よの要求に歴せず交渉は 小調に終つた、同時に金麗工 十四%同盟]金置一聚備于 能求照代表上所見、安 【鬼豆電話】定例融級故障後有田 | 傷ないのみならず、蘇蒙援助條約

伊坤首脳近く 宮間に居続り数支間型その他につ外相、苦内陸相、水野海根は前相 き組み最高した後、既に川越大使「卵ムべき時機に選者したので、の西州派動揺脈に北支の狀態につ」がためには我が大層蹴躓に乱正 内庭相より到蘇泉諸問題につき報き協議するところあつた。先づ等 おあり、次いで有田外相より支那一て居るから、この個勢に對應せん

等により支那の負電燃配便で、は三連機能の方針に基づき川地大便は同割等により支那の負電燃配便で、は三連機能の方針に基づき川地大型をして著しき動化を来し、又西一ついても機能され、なほ有田外組化を不し、又西

し飯上對支政策の銀行に乗出すこ

の締結、英米の經濟的被助等を中

に衝接な関係を有する局部問題に

められ、イギリスが両に支那に於一・政府は何らの樹園を受けず「し交渉を開始したについても三祖園に意見交換が施一」、極度艦隊についてはソヴェー」との間にこれが至

國體明徵具體案

文部省で決定を急ぎ

たが、リース・ロス氏戦迎の健康して、、相の間に由由慇懃が行けれ

よれば次の如き安協案が英蘇南國

環る恐れありとの見地からメキシ である、帝國政府はアジア人配と ジア人に思する制限をも加へた由

嶋谷汽船株式會批質市門開石

肥ッ臭・鼻:鼻:鼻:鼻、鼻、鼻、 厚、鼻。 出ュ充:為 性、鼻。 出ュ充・答。 火・症;革。血。血。見。

小面除外についではソ**ヴェート代** の交換をとげたと解される、極果

代表間に鑑識されてゐるといはれ 得へられるが更にその後の情報に

がためには我が大層政策に配正を

【ミラノ四日同間】ユツソリーニ

前期に二日以フオリー・ロッカテ

支担の情勢は支那の依然たる歐米

態度も協議 リ氏の歓迎

磁せしむるため各種の施設を行ふ一定を急いである、而してこの兵能

後を迫つた主人の

太平洋を渡り、

大和組四灣海河東

の間がある本都

くその質能にとりかくるべく目下「世世の日本の図録を明かにす

**今月末頃に出來上る** 

話』五日の外陸海三相會「 昨日の三相會議

し、特別議員の協賞を終たので近

八萬四干圓を十一年度整算に計上、あるが、大體の方針は左の通りで ことになり、これに要する証費十一素は本月下旬には田來上る樹様で に開して各型技能に一般社會に徹一各關原語に於て成りに具體家の決

在繭値基協定會議

値基は掛目を基準に

勝する新城政治を協立のために、

朗き新規要求の大綱見造しを決定

こと、し、第二には第十六條の

關

本法は其の制定の趣旨に整み

人被救軍の悪旨に伴るこ

職業紹介法 中改正法

不穩文書等取締法案

に三掛以内の増加を認むるもの

【東京田話】腹皺事業の歌正に作

を分途中の大部分け汽車について シネル する

どころ長いト

東京・原図 のミッワ石 職本舗 東京第10回・韓のより 東京第10回・韓のより 東京・原図

理工工分型上流流、省级合、原体总统、有效,是一个企业,是一个一个企业,是一个一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个一个企业,是一个企业,是一个一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个一个一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,一个企业,是一个一个一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个企业,是一个一个一个一个

人はどうして三羽の街がカンサ

れは親子三羽の前でカンサス・ の方まで駈け過ぎて行ったへこ

と上海まで飛ん

ムホルト

が船の上の方から

ら飛び出して来

ルド」説の外 たファレシテ ポルトンと假

頭上をドサク

定價

注述思付新用源人七十個綿繰付從來の導入四十個

超级登記公告

逆算する方法をとる

より本何第三震論報に於て明版、「南鮮地方工場所在地別近を標準春調館基礎定館職は五日午期十時」た、湖定職文は次の通りである

| 田標である | 紫花街、所様が法の欧正常は五日 | 紫花街、所様が法の欧正常は五日 | 殿することとなり、これに伴ふ巻

知つてゐるので彼女は宦の鳴響

除されてゐる▲

own.

もついたので、五日午後十一時

我最後的態度を通告

の正式回答要求

菱、五日府内の大小工事を視察、

調査局議田調査課長は四日夜来 真施に関する質地調査のため内

生保協會引受 鮮満拓殖株の

三萬乃至四萬株

城密の設定

地方税制の改正

大改正として注目で

七月中旬に延期警察部長會議

山電話の照館電型輸出品の統 金山で語る 際田調査課長

折から南鮮脱祭を終って来遊した

景城へ赴くが、五日正年殷原道

を明備、上京中の今井田政務器品 ノ内生保低樂部に於て株主思熱質【東京電話】生保温質では五日丸

野地でりは著しく、内地側に総 拓城株の引受につき、時間を全行つ 野に於ける新興輸出品乗車の を招き職に引受けに内定した辞職 にの影響る

「祭する、統制関施の可否に 「各地を十日乃至廿日の限定」 乃至四萬株である。 「他の要求が類りにあるので た、因に内定した。

た、因に内定した引受保敷は三萬一

レット大臣の言に何等の誠意なし

村井總領事から報告

総語するものにあらずとなし、リ と、して散婚した 氏をして今 回の脅談

内務省企圖

| 在川商議會頭 るが、数料性のおい、数料性の

動就委員是を訪問、際頭配任を承動就委員是を訪問、際頭配任を承 | 「11 電話 三日の仁川幽識神獣

内容明 本邦唯一の 世一元の所

小平動氏監督製劑

クの復興のためには、 生

競感されました、この大僧には五千人以上の中二歳以下

迄の八日間『子供の淵間』が明確されるので當地の小學生徒ので名金米の小學校に大きな虐待狀が

小學生大會の招待状またであるようとよりに見まれ

(葛良け大きなタイプライターに打たれたその指行状!子供とタイプライターとを比べて、

アマチュアのための

# 學界の謎と奇蹟 嘘のやうな人體の神秘

變色人間や風船人間の話

女(變色人間) (一)カメレオン **使も及ばれずらな不思議が敢々ある** 使も及ばれずらな不思議が敢々ある。 生滅には一寸思 近代勝思が如何に長足の誠思を見せたとは云へ、まだま 起り、件の男の日から青い頃が吹 大概を「も少し大袈裟だが」

立病院に人衆した。婦人思香に起 更に褐色に魅って来た。歴状とし 学色の皮膚が緋色に鑑り実は緑色」で新聞のゴシップ朧を取けしたも カメレオンなとして一脚だの心気をうけた、その結果で れば、胃の下部に思った既る酸素 のたの金物が異常に永く臂中に停 に収容されてテレンス・イースト (三)風船人間

れ上り初めて頭も頼も顔もないま

がこれは少し西連でない話ー 男が幕間に関連しようと概念を同 目倫敦のさる脳塩で醍醐中の中年 生する一個のガス振田地象である。態を早したのである。吃意した瞬 欠伸だの配だの消化知管内に能一つて当つて今にも破壊しさらな料 るで風船正さっくりなお化けにな

つてゐた。組國の急を聞いて

た。ところが難いたことにはこ

ないかと言ふのであったが思書は

を出したがそのうちの一人は脳の 他の交通事故が起り敷名の疫傷者

米國のボートランド近郊で自動

るやらな無念の心、それ

て行つた途端、突如大意響と共に「出し蛇く破蛇を死れたと言ことで「は八分も断けるといふのに天文墓」と午後四時三十三分復國の時刻をえて、憐寸を酒り火を口許に持つ「り皮疹」一部を切り裂いて気景を「の祭門航な戦策であるが、原気で「日午後二時二分に始まる所懇も勝っ 師が題て、原因を調べて見るとこ おは真から吹ふ息がどうしたはず「窓の悠然を示してゐる。――だぶ」なは真から吹ふ息がどうしたはず「窓の悠然を示してゐる。――だぶ」 みか屋下に溺れてかくの始末と特

男は早速キングス・カレッチ病院、學名をサイチリコと呼ばれる寄病 な嫌のやらにほろしくになつて執け、関に色薬を失って登には大き かある。この指揮にかくると世籍一の日き職人は日くなり過ぎて選に されてゐるが腱々見られる病気に 落する。だがこれは交動だしいが (四)白人より白 病院にこの病域にか「での話。人院思考中に一分間百万 大窓び、大艇な際になったが、こ 白人なられ日人になって了った。 (五)耳の鳴る男

をめ る新話題

果京科學博物館觀測隊は

脚物館では、萬日やはりこの

新製八吋のアルミ鏡で 閃光上光冠の正體を探る

二、帰五分に断け始める北渡道の皆 第の整點を示してある。~~だが、レン事をするか、といしに~~本し、関光スペクトル脈に光証スペートの「いった」の際のは人、科学問題は十九日の當日はどう。ルミ酸に使じ时生のアリズムを附供日産~一點い水臓への離心は人、科学問題は十九日の當日はどう。ルミ酸に使じ时生のアリズムを附供日産~一點では始める北海道の皆、文家と最も扮技な陶器にある東京「海道へ郷行する場談は前夏人時で発生の一、まる、水の一九日午後、師外が戦の沙肚型番だけである。「且つ混明をする」というと、 出して来たため、脳世界人の状態。村の東京大文堂に葬るのは神田技 戦戦警点に、太鵬を投記して大勝に封する着しい戦党項目が観し数の形と大部分がのなくたり三鷹(出版)で、展開庫の分正中太陽に対する

| ここを日忠三十三分後国の時刻を「ルミニュームを良空表記||日午後||時三分に始まる所閣初島||とは明子の鰹面に、飯の行館屋上の二十割分発行と、 天文合政化居正久氏が科學博物館「があると期待されてあるれがため日処諸日は三騰荷の東京「購天に嘉まれ、はすばらしれ渡道部内の融湯随地に出版、そ「朴定騰さものはないと看も 館唯一人の天文學者鈴木敬信氏は一脚定する蝦傭を行つてゐるが、剛 クトルを撮影される形、アルミ鎖

銀の代りにア

如何なる単幾を惹き起すや

不注意のために

自由 撃校は デンマータ 國民に

「「一年」と、「「「東京」と、「「東京」と、「東京」と

一般党家のために日金融測法を左 (2) 泉選鎖や双腿鏡を用ひて駅 な、

る際は必ず色ガラスを遊して

野學博物館では一般の業人天一ものだと、理想能である

眼を焼かぬやう

1)一股の人々が日金を限るに

濃い色ガラス叉は幽場などで

失明する危險さへ起る とと、これなだれたら、地を焼き 番り

工

年は七割五分、第五年七月割五分、第二年は五割、第二年は五割、第二年は五割、第

ルンドウキヒの國民學校と共に

質的設動力の供給源として、

學校は死に制する生のために野

しかしそれが成就したら使

「戦のぞうな音をたてる月を誇つ大」中帯シャックリの大流行があつて一室百三十二気切則正しく時間の故。思ふと、一九二〇年にはフラン との男のウリスタンス質、即ち期 に観測鏡を挿入して心奈した結果 金工學院自復を決感し息よ自殺 もよみさうにもなく語音も匙

の度にウースタシュ帝の日が語際 つてある一つの小脳関中に膨因が 喉と中耳とを結ぶ脱海の壁面に沿 して件の怪音を出すと彼はこの寄 交五年間シャックリに部とみ通復ねた事性もあつた。だがこれ ある。彼女が復せ衰へた幽難みた 既る百姓なかその た話。ニューフアウンドランドの ヤックリのため手許が狂つて死に

この組入は至ひにも横騎 能に短點は英國では所り組まれて シュミッドボ 職に後の作品は決國向き

彼の伯父はポンのためにパート て力があったが、少年は相父を主

段として落ちつく戦がなかったも

ローアの慶興

月刊

の翻せしたことまでを制修しく愉しんだ、優ともなれば宝の

た。奈良

**興界空前の壯爆** 

大附録の壯觀

記念特輯廳

是ぞ全寫眞家垂涎

を収めた全寫眞家垂涎の 明寫壇を代表する寫眞作家 一百餘氏の提供になる會心 の名作各一葉 一百餘枚

| 再現して鮮躍無比!| 中間が原印書の諧調を一大寫眞畫集である。

■指標たらしめた。

一々に制作データー

形式をかりた自叙博として書か

現代女學生に頂門の一

信えず

壇の一大展望く

實用技術記事は例

月通り満載された。

**天增刷敢行** 

高切れの恐あり 一個:二十銭 一個:二十銭

女學生たちに次のやうな十つ意 ヘトン大學の學長ルーシイ・フ ボストン大學長が與へた十成

見知らぬ諸に許す勿れ

汝は武麟の因類に配原せずる。取つたが、第四の配銀について

彼は公園の場にて飲造する勿 て何ともいはなかつたのを不思

附線

及店遊園全 りあに店料材質寫名有

匠圖書館

『徒然草分類索引』を讀みて 國文學界に一 研光課題を示唆す つの新しい 

新聞:陰腦器型 定價六十錢 選 一の小型カメラ指導雑誌 /

特「N型原版」 見 特 報 號 月號

小型原板の現像

京神田 投資東京三四八八八 T

は加藤氏 音の先生は数宝の碑

【大郎】過酸の特別認動に側断隊「距视音陣容量化の上にも一大ニポ

慶北の警察網强化

高粱

極

好夫

丧

を来すものとして多大の注目

回は本秋、公州開が清州へ来紅

也雄

常 舰

長治 照

各地薬店にて販賣す

選手をあやまらせるのはファン

緑風わたる池畔

光施設は結構

『京戦』、別キ山下守備院院の諸軍、自集公職と移戦に理能的な公認地方院公職に別北道戦令終戦が兼を「対立党等車・實代」て現在の設断が決し、「清戦」 形飛・色質的では実在の「財地一貫十五百八十二年を借用・

守備隊の跡に移轉

清州公設運動塲

四公園會館は自慢もの

凄い 観察で縦横に感想を語る

-機嫌の安井知事

慶南西工技師

藥用外

今秋の水稻作と救濟を陳情

府當局で對策講究

製作権終に於け 



をになり背備中 るためと日盛大 るためと日盛大 炎膜助 系分を爽快ならしめます。 額和し、微熱を消退せしめ するだけで、館痛や咳嗽を 消退せしめ

衣笠達 京城南大門通四ノ六九 (米倉町停留所斜向)

電本25912

哀れな孤 兄に輝く光明

慶北で満洲へ移民計畫

に渡るで三日保護司 <u>國具以外の飛入りも</u>觀想してゐる はかりの蓬槃鏡音へ 一般は耐人時から十昧毕昭迄行ひ はかりの蓬槃鏡音へ 一般は耐人時から十昧毕昭迄行ひ が続を取れてゐた鎧 三回と上子供現在は年鏡上時から

[七川] 林氏の退官後京城總師事 所主任着任中國仁川辨事

釜山府會 [第四周

一般脚氣症、乳兒脚氣、乳兒綠便、

苗

孤治

脚氣と榮養K 强力純ヴィタミンB製劑 (専員特許) 照阻、便秘、築養障害、姙婦の榮養 粉末・錠劑・液劑・注射液 本社 東京 京播 ラヂウム製薬株式会社 出扱所 京都・福岡・奉天 に電脈部落は墨山脈の上流三、四と右部器に力糖を入れてゐる。因

水質その他、火田民の生活しれてゐる系統の探究から家屋、食糧して下のり

建築を嚴禁

市街地計畫を控

悩まされる咸興署

月にかけ前一ヶ月の豫定で決行

する意向である生活標式と関照して到策を樹立

|を認めなくなり六月 | 日以降は試 | 重等を栽培することになつたが、

十八萬圓バラ撒き

**冷害窮民を救ふ** 

取り残された三水郡には

つて夕瀬県海部部県に向つた、間、人な龍駅間に駅殿した - と馬物で散散したとりに東西知事は自郷神を圖 | 時指揮戦内田大尉に引率され、磁 | 店で連帯顕輝との開書 (1987年) | 1877年 | 1

んな歌迎裡に凱旋した

を無利で取扱ふことしなった

上三峯驛で

無料兩替

来新- た態質局治事態松崎安 | ○名は低砂を完全し、二日午後二| から當分の間、同難待合半條内費

ス銀行の割であったが耐痛緊長の

員午後八時から同會館で全鮮な場合開城軍の数球大會▲二十二

長院病原吉廓遊原吉京東前

明發大の生畢生先榮藤佐

は変地よに暗らたりの発電力を開展をありケンゴールの発電力を配販の観じ力無きは明確なるの配販の観じ力無きは明確なる

2師の來新は將來像大な説與を約2

した近脚般子夫人重に今回天君の一を間島小學校議祭に開催。管任後も引觸き許騰員として活動。た蘭开業子夫人を送る途明管任として顧問経成に薨力し曾長」本省歸嗣に伴つて則會長な

同氏の調査の結果、多年要型して の航路標識設置のため祭門的立場 共に両洲側の野党する特殊江下産業されてゐる多郷島附近の融紙と

新羅通過版表の何を傾り去る||日 配宴を確づた

【開版】開製郡では來る二十二日

南山で衛友同窓生を招待野遊志を招いて披露宴、更に三十 による二十九日夜長崎屋に官

李氏母堂告別式

一千七百石

四見を抱った

妙な女乞食

第二千冊で前年より三百石多い年の出願意定数は一千七百石、四

謎を遺して大連へ

[事山麓] 來る十五日の八種宮の

惠山八幡祭

蘇聯監視船に

場喰にす 拿捕されんとした

優か三日にして多い時間の概要に安護明地の接接題りを青まし著位

れるものと期待されてゐる、一方

道費を搾つて潤す

研究し、これを、平地帯農民の は式と健康との關係に至るまで 数子を許試験を出願の郡既試験を

執行してゐたが、今日では既に飛 許者も随和財態に達したので必要

歩を明整、各種の音重、硫酸をは

斡旋で行ひ、英山郡三長面と延祉の内鮮人の移住を本所及び咸北道の

であるが、移住問整は

【開城】新代安井京眾意知事は佐「藝経器、郡職、松節局事、好譯教」デオ翻環を行つてゐる

「開城」野似局で

長の永生不忘碑が建つ――

成異】選退を目前に河崎威興階 南面本局公立豊通県校は大豆化

河崎咸興署長の不忘碑

不呂普校後援會で建立。

開城局員の體操

障標識 を設置

総立された學校だけに同校後援強

場その他の用地買收に際し河

開城の各種

運動競技

松崎技師伴つて鴨江下流視察

美座知事に道民期待

齢者等によって一般粉を製造するの る監督工場をも設置し、首合、馬 の事業計画はピート・ルートによ

百萬個を職出し六ヶ年の職衙事業

は郷下げを無て既に三夏に事務所 を収香の見込みで月下部:年の記録的を駆け、三千六百六十七町歩 の記述の下に大概四千人の彩生訳 計 二、五〇〇 八三三右國権城は四千五百七十九町歩は 計 二、五〇〇 八三三

神谷農塲主が六年掛りの大計畫

ねばなられ。

根治は一日も連かに淋病の進行性を恐れ

患者自ら覺醒の上本然の治療に立直しを促す

事後に本種の数の一個を用ふべし、末期に淋躍の機能を絶ち起じて地級の

愈よ初年度の事業に着手

を明設し事業に省手した、同盟国

批選行に當つでゐる

多数の出迎へを受けて開城省、隋

低款網長の出事好きな生俗の一端てのこの朗らかな新計成け吉両新

であるが、着任俺か一日ならずし「させて廿九日午後三時趣列戦で歌するもので、国下良體穀を作成中」例をみてやつた上庫子五人を入浴

題で官民に接見し、府形より所勢に

日午前九時四十四分看列中で官民

安井知事開

城視察

により地陸を展定せずに各地から 氏はこれがために神谷監場各庭で

根本的對策を樹つ

7、19東井四年、合献三百九十一〇版建に滅しめてある。 193に提出された御町側は新津三 交に修稿書を選択さればたらのこれが、「日本の一大」と、「日本の一大」と、「日本の一大」と、「日本の一大」と、「日本の一大」と、「日本の一大」と、「日本の一大」と、「日本の一大」と、「日本の一大」と、「日本の一大」と、「日本の一大」と、「日本の一大」という。「日本の一大」と、「日本の一大」には、「日本の一大」と、「日本の一大」には、「日本の一大」と、「日本の一大」と、「日本の一大」には、「日本の一大」と、「日本の一大」には、「日本の一大」は、「日本の一大」と、「日本の一大」には、「日本の一大」は、「日本の一大」には、「日本の一大」と、「日本の一大」には、「日本の一大」には、「日本の一大」には、「日本の一大」には、「日本の一大」には、「日本の一大」には、「日本の一大」には、「日本の一大」には、「日本の一大」には、「日本の一大」には、「日本の一大」には、「日本の「日本の一大」には、「日本の一大」には、「日本の一大」には、「日本の一大」には、「日本の一大」には、「日本の一大」には、「日本の「日本の一大」には、「日本の一大」には、「日本の一大」には、「日本の「日本の「日本の一大

(七〇曜) は二日午後五時五十分 はしてこれを退けたといることで(七〇曜)は二日午後五時五十分 はしてこれを退けたといることで

白山丸船長の豪膽

野ぜんとするか様の税非常に出目野唯一の不衡者を目襲して平北道

運轉手試驗

駆を極め今巻解水後五月末まで蔵 | これ等の家屋には強からず取裂し「蔵輿」 肝内の家屋建築は依然配 | は市館地路職業定地に建築された

生活様式を綜合的に調べ

民政兩層長、萩原特務、馬込趣長、耶地機關から併修繁務、金

まで事態精迫してゐたところ一日

最の通り去る一

り。量政部たる協総の出標如何に

國有林

を折い

宗正さらく整称最の追跡も学じく一般の銃器を描んで逃走した犯人到

【寒山纲】脱榖、圆岸及白府自陷

取逃がす

百七十二四九千三百六十四の増 五月の總額五百二十七萬圓 百七十萬圓の增加

**半揉み扱いて** 

出資者朝鐵側が讓步し

日中四面増の三十二百七十二萬五

業の許可

八百卅四となつてゐる、劉智品 間間比一千四百九十八萬八千四 月八日の名前に放っは前

接收費十二萬圓投出す

の配れた政策の野漁業も最近ボッ

「超れた成型の野漁業を最近ボク」権的健康側径合計九百州能権に達成員」 潮流異態から落しく漁場 | 端川四百七十株、群仙三百八十三

鰛漁漸く始まる

、血極通常に張し始め四日現在一した然し現在迄の漁運は全部帆船「安を振った」頭を通った。

鰛巾着網漁

他一般時人の投作も相当あるらし

女税闘吏を採用

婦人の檢査は女性の手で

に治療患者数十萬の例をもつ長き歴史に基くのである。

初威衆、戀性淋病に對し特質最强點

鮮やかな新税關長の第一

| 発射で概能はまだ出動してゐない | 発り彩彩不明の磐破四名と合して | 巨質は磐破の器(低として五ヶ年間 | ゐたことも物った| | 2000年11月1日 | 1000年11月1日 | 1000年11月日 清津の貿易

動中の清水本部

席の岸本正雄氏に決定 回塞天郷公蔵長へ奈縛、後任は次 一一分割礼で帰じした 九一頭(三四、五一六四、六九、武線の五月中の牛、咳度収斂に中、咳度収斂に中、咳度収斂に中、咳度収斂に中、咳度収入した。

回興・エニ・八一九斤) 【清津】満洲町空質社の日湖連絡 定期飛行 新京清津間

やつど復活 度も飛ばずにゐたが修理工事も完

今月中に施設完成

國境の關所に

き盤局で取調べ中であるが人夫の。十餘名を飼散館に招待して新宝板 ルの遊戯、山莊の境築等観光師設 裁造観は一萬二千国に上り、その「路の発話層を隠し、午後四時四十」の整備を急いでゐるが在はいづれ

惠山の傳票詐欺

汽動車も運轉開始

界驚異の尿道殺菌偉力

新決根 療局治 法所硿

数十萬の全治者の例に明白

飛行は清貮飛行場のコンデイ 一つた お化粧を急ぐ 赴戦高原の名

フロペラーの音を響かせた。この

新發費(普及品)一圓九十錢

ケンゴールは特殊薬

参號(婦人用)あり御註文は御明記を乞ふ。 注意−0鰓(切態染を食動用)査鍵(急性用) 武統 慢性用)

平原市芝區通新町十二番地東京市芝區通新町十二番地東京市芝區通新町十二番地東京市芝區通新町十二番地東京市芝區通新町十二番地 日東駿蘇合名裔紅樹品

N 31

文献進星

全国警点にて販賣す、品切の節は直接機代理店へ

特に倒指定下った。 ギンロケンゴールと 築合名台社 プラオン 求めに際して日東製

本品の代用薬は斷じですから周所薬には てありません。 御買

HET THE OWN

血

7

ゥ

E

ソル E

法製

医生光糖醛 騎 北神學國 本讀產安 是進代無郷次込申

安

西寺博士 詩

產

調

本

は本生の実體しるがひまして不出意によっていませいに色力の概集になる様 近畿に種人の生理節紙化でありまして軽減ではありません。

ちものであります。 妖滅中には異種に大変な機能を疾するのであります。 からあるの観光なしに盛っておくと思かれるのつかの疾患に罹り見ま 世帯を起したる、 臓い子供が出来たる、のみならず形観自然の生命を気

くするやった色々の病気になります。

脚つてのかないでは不要でありままが変みの迷さが放然であり

戟

( 🏞 🤄

法には可なり事 娠を 排って 前の 養生 日すべき種々の研究が發表されるに至りまた論り注意せられなかつたのですが最近注は餘り注意せられなかつたのですが最近注は餘り注意せられなかつたのですが最近注意は餘り注意せられなかつたのですが最近に就て、 大體好 を 拂つて頂きたいものであります。 大體好 を 拂つて頂きたいものであります。 大體好 を 押ってき のです T 目とは

必需要,

(前略) 機い 電気しかなく日本和原理 位の小棚でして展立の時間 は七百二十名長男は七百 五十夕で生れ服理がいるも 能のよるといるの時 は七百二十名長男は七百 は七百二十名長男は七百 は七百二十名長男は七百 は七百二十名長男は七百 きな見が生れようとは信じ、 さいと言ふ気産薬が非常 にものから服んで御覧な にものから服んで御覧な

娩分兒女の百二貫一らか體母の餘貫九

低藥 廉價 窓 不 振 の 変 素 不 振 を の 変 素 五千 錠 Ŧ 百八十錠人 能 人 Ă, 四圓五十 = + -



化症や妊娠中絶である流流の自家中毒即ち悪阻 むくの自家中毒即ち悪阻 むくの自家中毒即ち悪阻 むくのは は妊娠中毒症 ぜ。錠 やんが生れますから 服用を勵行すれば丸 が産院から奬用を受 の如き産前の養生に

> 店 商 吉 友 澤 藤 社會式株 町門小西府城京 ● 町本區橋本日京東 ● 町修道區東市版大

光に大豆は北よ

**養蠶、牧畜、鑛業や海外に誇る、寧越煙草** 

えて元山に出るものは元山大豆の あらうと言はれてみる、朝鮮第一ら内地へ移出され、音楽山脈を超 革新の 重要な 潜動をな すもので

レッテルが貼られ、これ交内地め一の養理王國慶北につよいて工職道

祕めたる寳庫は拓けゆく

脂帯とは一躍どんなものか、印 ドッと練込まうとしてゐる中央

も集中された世界の目、耳の配

あるが、京畿、忠北の産来は南北

と北の大豆で

忠北、江原の北の道に多く南の米 がけて誰やかに移出されてある。

この主産地は南には乏しく点歌、

台上にある

米の主産地は慶北の南部で

も眠りついけた質のは関を格

御少汰あり、不治大日本能補助として金一封御下腸の

出場することになった趣を

2日され、同版遺数の御

ソク大質に役が日本選手が 大皇陛下には、今夏田林で

第十一回オリンピ

金一封下賜

東京電話 體育御駅助に

大御心を出かせ給ふ

ピックニュース特報

メッセー 獨逸の三氏へ

特別記事寫眞に自信を持つて

名取本社特派員伯林へ向ふ

宛てた同文、三通のメッセーデを

(出版をつくしてかいてある二十三

**計置 林原印** 

と、前師病者らしく、住所は竹添町「所で山梨陽人館、同日午後八時よき、笑ふのをやつと眺めて調べる」學校、七日午後一時御戚町の集館

とする弧道に噛みつき、果ては江一県校、同日午期十一時より南山小 大騒ぎ 中を釧路場罠が 取押へん | 引級いて六日午前八時から日出小 能はの婦人を野次馬連が押しかけ一来、慰校其他の髑髏で講演を行ひ

租賃を起の輸入らしく、問題で除っ

はず、な圧輸は営分京城に都在東京時代の一種である。

影案内

朝鮮貯置。打本店務哲園

特別立替

り同領主他で一般公明解政を行う

とのみで氏名不詳、服法からみて

ルト、オリンピック質疑の三氏に

ル、ルッ大四、ドクター・シ 資本社長は名取特価質の波断に し蜀逃ヒトラー宰相、ドクタ

本地へ高二世國ノ野政ナル御等)に
カニ国ン、諸松ノ政治・シャリト・モニ、今次ノベルリンオリト・モニ、今次ノベルリンオリムビウク大省力最も盛八元シャ

全市を大部に分けて監督を開 萬戸、一日取立門が十四萬所

**改で 治院党が 慰み、家都の 巻し 七月一日まで帰憾される農繁治長** んだものである業病産生薬が高くなり、これが成 てゐるのに電み、寒る甘丸日から り、優裕な家庭等なのはれたしてみなめ、際 疎画の先睹者として好成離を勢げ り、優裕な家庭が出れた。 は、一般のでは、一般のである。 は、一般のでは、一般のである。 は、一般のでは、一般のである。 は、一般のでは、一般のである。 は、一般のでは、一般のである。 は、一般のでは、一般のである。 は、一般のでは、一般のである。 は、一般のでは、一般のである。 は、一般のでは、一般のである。 は、一般のでは、一般のでは、一般のである。 は、一般のでは

人山田部と副東科スキー山田部合「古出線」「常に、北郎に鑑え木だ」で、宇脇の山臓としては全く米明然と血に燃ゆる著人らの比較が城ーリーダー 伊殿武夫君に 引率 され「長鴻湖にベース、キャンプをおいー・・・・・

が一分脈に加れて風楽劇山歌を物館、

分人域するが、七日京域酸金剛、地域訪問の騒盗六日午後二時二東京泊船軒住職後藤瑳道師は、

最も煩雑で而かも些細の誤謬をも許さ

ない計算事務も國産タイガーの御使用

貸

家あり常都町二八七大が山野作所

京城原町 海來島雙來出海拔游來出口眼。 店员募集十六歲以上通

によって簡單明快に處理出來をす

女

第金町三丁目中温底館内 ・ 人用収入多額本人架 ・ 大用収入多額本人架

原金網を傷め、威廉恩山城で培が | 一、湖町 長沙町炒小寺別院総形を終へて甕にそれから白頭山 | 一日子後一時 十一日子後八時、近日 | 一、湖町 長沙町炒小寺別院を称って甕にそれから白頭山 | 一、湖町 長沙町炒小寺別院

巡査を嚙む女

キ印、相當家庭の者か

てすでに十八ヶ年の行間通俗講演

從つて誤算は勿論檢算等の不必要を腦力を

絶滅し事務能率を百パーセント豪排する事

タイガー計算器株式會配 東城出張所 京城南米中建二ノニーニ(原源本年3号音) ・1 場 大福市東海川電野中南国ニノ ・14g-5m | 東京・北根・銀英名古田・塩島・銀崎大都・新京・華天・5

本 (1) 1 日本 (1) 1 日本

+

正催 150頭以上 カタロケ間径

師で進めてゐる、來る七月十三日

総同山岳部戦等は約一ヶ月撤定で

せんとするのである、それは成化

人足の入つてない山々を悉く

禪の講演會

妙心寺で

長津湖を足場に南北胞胎山へ

召喚取調べを行つてゐる

果宜薬商品はすでに数日前

**异咽喉科醫院** 

清訊

本語のこと 北米倉町九四、京城朝人編院 北米倉町九四、京城朝人編院 北米倉町九四、京城朝人編院

※ 京日案内

未開拓の狼林山脈拓いて

梁をゆ

即で隠村家庭の井戸水殿良を護跡、微道や思路道では積極的に井戸の してゐるが、經費の臨餓や、永い一敗良趣動を起し、コンクリート遺

振興と疫病退治策

ら『病都』

(府に及び、従來現角病都の汚名

場間的に不衡生な施設の改装を能除して異異を微軟する外、當局が のる家庭には、桁の掃除人夫が掃 の三つに配分し、年収千五百間以 る思り、職に確を設けず放置して の分離は府がこれを所有すること ることが出來、また汚物の所有、 歴を誇り得ることとなった

の政策が二千石、應
作取立戸数が 日目低に弱つてゐる、また現在術 10、釧路間の都心は毎日、これに掘って異るが本町 三ヶ所の協分所へ運んでゐる、な 生型の微収は戸門郡等級を甲乙丙の ほ情格人夫の各自孤四は既芥保尿 よつて衛生都市の面貌をそなへる| ク 些村振興は光っ健康から々をモー 直撃会部と協力、概染清潔院の理一い家庭が相當ある機様なので、

地で大師院顕著盛景を組してむる 大師の降誕祭 山では各 内では各 を聞れ 事させる

**融道局では六日(土曜日) 京元線** 逍遙山で停車 大日朝の列車

母子の身元判

進逝山入口假フォームに一分間停

部別された母子の溺死遺にドイブ通は有名なものがは、民意、去月廿日登山、取物此間の

を誕はれ、エルナ夫人は獨連人で

哀れな女の身の上

個野山朝鮮朋院で大師の陸緊急を 労侵正が済長代理として来鮮、来

事項をして提出、不良井戸水の鑑しはコンクリート造り共同井戸は一 一島案の徹底をはかり期間な殴打「向である

合い

丸職インキ

丸醤スタンプインキ 丸部チェッタインキ 丸蓄製圖用インキ

ATHENA

異語でお求め下さい

米は一般の健康を期待されてある。で内地に移出する一方、漢法を後

中央線豫定地

|銀六十有除、大郷して来る九日に「難してンベリヤ部田配聊の底にの「急々のでみ々で偵淋に向つた、名」||歌の上田紀ずれば、陛上日本の赞||で歳後の決意を励め、熱源値く大||を行ひ、午後三座卅分京城總の特| の必腐を別して四日資源で艦い轍」で批行と決つた、業天、ハルビン | に合節すべく、五日本献で打合せれじとマラソン選手選は今年こそ | 午前三時五分夏城通道の關院列記 | 漢之助氏は、エルナ天人同伴これ

後町して猛然間中だーーこれに肥

午町三時五分京廣通過の顕瞻列起。 巻之助氏は、エルナ天人尚作これへ向ふ、殿りの本部は梁る廿二日 ひしつしあるが、本祉辯証政名取 最後の練習 を行ひ伯がの第、若を選出け北海の地に紫癜人域、京城で故園 【ぼるべく、今や樹本我園スポーツ

半島の寳庫を貫く

に移出されて約戦もほめて良い、 ベマキの脳皮が無難感に歪田されて、而も良質のために内地その他、音楽山脈中からはコルタの脈科ア 立には好様件に選まれてあるの で、何れ本版の類率均強計説の で、何れ本版の類率均強計説の 中心地として自身の矢が立てら れることだらも

質の木炭になつて都市に進出する

ン、トラツタの輸送数量も干八百が、瀬江を下るもの年齢的ニ干ト

簡神病者と門り旅解主に爺じて保人が設地、翻放者で調べたところ

娼妓の出奔

強補

精血

時代の要求に鑑文を利的他利極等、出現都立管、共の他の関係には、現の他記述金融が買なるを発出を確例れてき、「直接存在市五ノ四人合質を表現している。」 女 社市話本版では、大学社会には、大学社会ないないは、大学社会には、大学社会には、大学社会には、大学社会には、大学社会には、大学社会ないないが、またいは、大学社会には、大学社会には、大学社会には、大学社会には、大学社会ないないがは、社会にはいいは、大学社会ないないがは、またいは、大学社会ないいませんからいがものでは、ないまたいは、大学社会ないないがはないがはないないましまればれる。

背籍を裁上げ放火してあるのを家 英ないだけ、四日夜自然の一隅に

原城近珠町二八葉殿館正省人村城

されて來るものもほど問数と見ら

10二十二百トン、トラックで帰出

を下るものだけでも昭和十年中に

下腹部を刺す

五味畫伯個展

けふから三越で

な二つの傾性を備へてあるので新「正ໝその他の主要器へ撃めては船を二つの傾性を備へてあるので新「正ໝその他の主要器へ撃めては船

は森林が乏しい代りに水田が霞々 忠北南部と魔北の安東中心以南に 花の栽培が盛んで、頸手の設意と と折けて米、葵、雞鮫、濃藍、柏

が戯劇項測服器生活を臓骸を以つ一木養三郎身は八十三歳の老齢だ 八十三の老翁が 體験を語る

時む。神景の天気

A A CONTRACTOR OF THE A STATE OF THE

財源のある道では 権助を 興へる意 各取特派員夫妻を図んで

のベルリンで総裁に活躍する名取一で断書局では日むを得の集合は上

### 中野と人(二)と提男の孫總さん。 一次に製造支票に優れた手腕 銭から:回二千銭までに消倒されては大量階外東村金蘭仕二女権 ある。殊に製造支票に優れた手腕 銭から:回二千銭までに消倒され いて、養て水上署で調査中だつ。かつて問題で新聞記書として屋能。買収用地上裏坪の中紀五萬坪の買 紅肝地質牧着々巡げ中であるが、牧、九月から丁書着手の豫定で駆 世里上水道は、八月中に用地を買 京城府の第二次水道顕磁工事の盟 水道用地 收用令適用

仮告をもつて 一般民衆を 欧瀬 難する事になった。なほ襲撃の 館大阪告は観見次軍取締り級問 高に殿軍が進し、今後は容赦せず になり、敵目削から質内各製態地 感近京坂の壁栗業書中には、着す 保安、衛生の各係を督称、嬰 樂の誇大廣告 鍾路署で取締





油

ij

(Z)



SAPETE THE PROPERTY OF A PROPE









H 垅 違へる際、親しくなつて来なると にお付所でも、農林省とか、暦王 | ?』 にお付所でも、農林省とか、暦王 | ?』 いてゐることは、自分に許線と定民一つ、僕に不滿らしい点様の動 の思ひがけない事物で、まぐれ書「まら、どつてゐた卒業或の罷代にも、無子」する……」 **春は自分の高に自然がわざ!~作** 忠雄、倭城壑の佐壁。――と、桜の『豊鹿苑の桜の花屋道、講誦の奨 は、鮮銀理事の娘として何盛へで一つうくん。だけど、どうして?」 められてゐる、宗能家の周、地が 知事からは記念品と、前端の感響」からと申上げるよりございません それは愛子が指折って待つてゐた **化便りに賑やかな、四月廿日**: で暮してゐるだなんて、憎らしい 省の技師だつたら……ロお寝っま こにもせよ、単校からの意味、道 他の目的の愛子にとつせは、何一をかけて結ばせて戴きますから、 今までは、何かの部合の際にも どんなにいくだらうかしって、未だよく髭が結べないのよっ 急に自分の歳を思ひ出してみ かたくないが、電子は急に見 多少の不安の交にはどんご望でもお明合態はしま 春を侍 粧泥へ入ると、愛子は、 が四時きつかりにやつて來た。化 一部へるやうに、第一般愛想美ひを 医谷々結構でございますと あ をして、傍に助手を整へて、美容、他町のズクー白い仕事者に、きり、と身仕度 『ろくん。 『呼曲と即つしゃれば、お美しい と思って? 『それから……」と云ひかけて電 『え」の大丈夫よ……』と愛子は ね。で、つ今日は小野が腕に然り 師小野は此の賜り高い少女の題を 今夜は、おざ居へでもお田田けで 『お、少野さん、私學校出た形り 大きな化粧銀に向つて腫を下ろし であめ、どうして? 元信でございますねる お押さま 『おえ、どんな壁が私の顔に第一でございますこと……。 お夜僧は 電話を掛けて置いた美容師小野 宗母生式(終) 職人 京里間七時〇一分(東)朝の修辞 中日の天氣見込 門や、高い石雕文でも大王の御主(べず、愛子は上の空で跳を合せてのねえ)。 外から輝泉出來の御・・・』 何が、そうかも知れないか考 遊脱ね……。酢銀の必及那で…」お様い方を持りのお集りでせらか **向六時三〇分(東)基礎佛語書門** 午前六時(東)ラギオ體操 々風情はマア中せば外から押見す 版で、中は父、どんなに……。 吾 でろしん さらじやないわっ ホラ 『まめ左膝でございますか。 **一後零時五分**(大)吹奏樂 持時間各七時間 六日の番組 五局 ~ 土曜日) **汽油争弱血戰譜** 放 と上の方にある郷 殿は四四金公の局面 消費場間 送 「持駒」▼阪家氏 光大段▼仙大段▽山 同二時(六) 北側 瀬本の香り 南二時(六) 北側 瀬本の香り 南三時(元) 新本郷 瀬本の香り 同三時(五分 前上源) 領東湖 後山 瀬敷の雲線 朴 容 海町 (大) 北側 前の馬 大) 北側 前の馬 (大) 北側 前の馬 テナストニ四マ(名東道県登山) 東東 (大) 北側 前の馬 テナストニ四マ(1) 步 おたっ でも、駅け出しの下つ端じや仕方 同六時(〇分(東)コド 『ぞりや、さらかも知れないわー 『ホ・・。面日いお鑑さま――。その家族の爲なんですもの――』 だわっ今夜のパーティは行頭と、 たら、黄女だつて矢眼行かれる部のハズさんが鮮銀に出てゐらつし 「競なのねえ……っでも、若しそ 『え」まあ、あるやうな、無いや 野さんパズさんあらつしやるんで 『まあ、お嬢さま急に妙なこと何 - 詩五五分(東)カレントトビー 一類博士 - 志村 繁隆 ▼同思へ 勘採 **敬重胡敬育研究曾 て展酬を求めぬこと、この蘇志郷** 7 ドイカより イローの誘電・アナー選唱・歌劇でルタよーラ・ソプラン選唱・歌劇でルタよー大人。ラストンヤン ◇ ――私はそこで供ごくろを標び、現であつて歴史で云へばアルゲアとびするのだと敬へられました。 ド(今の和闡)に起つた築君の出上がするのだと敬へられました。 記憶色斑牙頭であるネーデルラン まで据んでやれる心様、指は我執 ます班こしろし 能を無限に持ち給い方を修能とお 多くの人を形はせ人の幸福をあく 歌は苦しみを抜き去ること、歌け ひ変はし方があると思ひます。私 0 **嵌く大きいものですから色々な言。なつたものは、その照無量心に近** 器は楽しみを聞へること、 佛教機神、それはほんとに マリオ・ロイヨー 金易二郎 では、 では づくために努力精進したいもので これるます なんだが正直島で通つた正 のて神様は正直島が大好き では直の頭花神信のことい 私共お互に促となるもの、 八阪童話教育研究會

指 椰 林 頁

が私の本業でありますが、今晩は

際はつて來だ不思議な力をもつた

愛小薩馬

察式まいことかにこにこにのを授かつた。正兵衛さん 仕方がないのでいつと死な が思くて一向に緊急しない 兵衛さんどうしたことか通 この大運び、早速神操へお

一般参りに出かけると神様の へひざまづいて乗んだこと 『私は永らく神橋に仕へ」

七日のき、物

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

. 装無斷上波映圖

(十五) 印度 布 科秋年前九時三〇分 ラギオ世界見物 同二時、流花節・筋腫の肉煙脂の足骨三五分(東)後合新・強力・大力さや連一点を「大力をや連一点を「大力をや連一点を「大力をでは、発力・発力・発力・発力・発力・発力・発力・発力・発力・発力・発力・発力・発力・

同一〇時(大)日曜動行=大阪市南温高津一番町駅図寺本気より ・ 標電アナウンサー 安藤 一宮城府三道公園より全園 一宮城府三道公園より全園 同六時(東)少年少女獨唱大 同七瞬五〇分(東)浪花節間七瞬五〇分(東)浪花節

新曲連獅子 作

で、結局使くて軟らかいお話とな るわけであります **舞台劇**等 片殿

喜多村縣郎,

ります。突この他にも金鵬とか名。是で小唄の文句にもある、竹の柱。不奈から濡れよのそうな働きを持つた日本刀があ。の山中に驅ね住む身となりました。いだき使い早く來な、殿蔵に揺れて來る超人間能な神業。健居の遊女九重と勝を逃れて疾又。ない、早く没方を、耳厥 例へば出くから芝居、鄙るりとか 石その他に影像したもので俗間に 際席した飲かい語をいたします。 の研究部から抜け出して金融に に茅の島根――の嬉しかるべき生 細木香之遥はその愛人で新吉原桔

はれたこ人の仲でしたが拠所らし

頭痛

STOP

東京

井田田

京祭

堂

食料品店・百貨店に

主要材料の組織、構造などのむつ 茅の屋根

金屬研究室餘談

市村繁盛

百石取りの旗本の嫡子

感じさせられる音之進にもあ々と チャの間全版からさらした気候を 全が難しいのでしたお

であるのでしたっとある日の事前 心事を持つずとはるられなくなつ 人間は暮して行けないのかーとい ーをふな悪い語でもそれまでは

ねて來たのが香之趣の気の本多音

ーと 唱重

と我國を訪れたサン・カロル粒、リオ・ロイヨ(テナー)毎つ 伊 奏ニフテン・タレイン マリオ・ロイヨ

大人 で発言、エフゲン、タレイン氏に摩叭、エフゲン、タレイン氏に励事、昭和八年供太利にの事、昭和八年供太利に要求。

ソプラノ獲唱 ロデイカー

ない、早く貴方を、私の暖い心に の美とい選び、最ら待つ事は出来 歌詞太意、私の好きな人は今いづ 早く來れ私の心の光、私の目

きつてるたおふみ(九重)には香

にといふ理由から又おかくはおふ

の光は消えらせた

王のアムネリスを思ふが故であら

する香之趣を眞に幸融にする爲に 一度はおふみを斬つて自分も死な といる事から共々聞れを勧めるの 先づ動きます香之逝も り、色もせて添しる光型のうちに を調査を送してマルタガは去り、表 はないとかい。表がの傷のども、マ いってもかくとなって行く

うとしますが未だ少しでも悪の失 の燃えつつある今の内に跳れた方

れたり、樂しき歌の如く愛の星の。 歌劇『トスカ』 いと高き寒より光の如く彼女は現。四、テナー獨唱いと高き寒より光の如く彼女は現。四、テナー獨唱 歌劇『トスカ

いお前の一つのカタミによく見て「有つたら自分選と一緒にこのエデー前のお母さんの顔をよく見て下さっています。 アイーダはラダメスに直質の愛が お前のためお前の美しい目の前で

| ゴマー | コマー | コマ

へ、今は消え、われは死にゆく、

一般をいだく、そのうるはしき思さ、、思しなさらか、我を信せぬか、不行く 関からなたに、軽く砂をふみで、 事が出来す一緒に続ける事になったのであるただ、軽く砂をふみで、 事が出来す。要らしのかれ、甘き口 が、悪ひしこゝに、現方はアメ集がの傷めども、そ 関すらめければ、土はかすみこめ こうて、メイーダよ外に続くけな事になるが、悪ひしこゝに、現方はアメ集が、悪ひしこゝに、現方はアメ集が、悪ひしこゝに、現方はアメ集が、悪ひしこゝに、現方はアメ集が、悪ひしてきのか、我を信せぬか、かだは明えらせた すて」、季をすて」 「他の報酬にあなたを得、業しく奏をして」、季をすて」

い、隠しなさるか、我を信ぜぬか

ラダメスは振遊者になることは出一プトを逃げ歳をすゝめる、しかし 來ないと云ふ、アイーダは怒り女 は、発の森へ、美しい藍の花に製い、 お、緑の森へ、美しい藍の花に製 大、之産まで懸ふに、行きなさい人、之産まで懸ふに、行きなさい 美しい森の国へ、それは、単独なしい迷げよう、早く逃れて、あの みわが父にも、心配はない、恐ろさんと思ったに、アムホリスの嫉

風味をひきた **味自慢のこの** 和洋料理の 滋養調味料を てる文化的 お薦めいた O 御交際。 ます ても歓迎され 贈答品として 何處の御家庭 社会式体造製トマト畑愛 編本スー 村野上外市量古名

んで下さい。その優美 ご使用の際は、ブラシ 對に手放せません。 が、貴女の黑髪に魅力 それだけに頭髪のお手入れに、メ又マを継要は、背脳でも頭髪の紫養の衰へる時です ある生彩を與へます な色艶と美妙な香氣 ユて頭皮へよく擦込



M P 3 8